



平成 30 年 7 月 12 日
九州地方整備局
15 時 00 分

平成 30 年 7 月豪雨における出水について（第 2 報）

【遠賀川水系、筑後川水系、松浦川水系、六角川水系、
嘉瀬川水系、山国川水系、菊池川水系、球磨川水系】

○平成 30 年 7 月豪雨による九州内の 1 級水系の雨量水位情報を取りましたので、速報版として公表します。

○松浦川水系徳須恵川で発生した河岸決壊に伴う護岸の崩落については、13 日の復旧完了を目標に 24 時間態勢で緊急復旧工事を実施中です。

○第 2 報として、ホットラインの実施状況、治水事業の効果を追加しました。

【詳細版】（第 1 報）から今回追加した情報は以下のとおりです。

『7. ホットラインの実施状況』 『8. 治水事業の効果』

※その他進捗状況の写真や語句等を修正しております。

【問い合わせ先】国土交通省 九州地方整備局 河川部

河川計画課長 小林 侑 (内線：3611)

建設専門官 高島 恒善 (内線：3616)

電話：092-471-6331 (代表)

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります
※【詳細版】は、整備局ホームページで公表しています

【http://www.qsr.mlit.go.jp/bousai_joho/H3007gouu.html】

平成 30 年 7 月豪雨における出水の概要と対応(第2報)

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります
※赤字は、今回更新した箇所です。

1. 出水状況

遠賀川、筑後川、松浦川、六角川、嘉瀬川、山国川、菊池川、球磨川の 8 水系で、氾濫危険水位を超過。うち、遠賀川水系、筑後川水系では、9 観測所において観測史上最高水位を観測。

○ 氾濫危険水位超過 20 河川 26 地点

遠賀川水系 : 遠賀川(川島、日の出橋、中間)、中元寺川(春日橋)、
穂波川(秋松橋)、笹尾川(野面)、八木山川(生見)、
金辺川(夏吉)

筑後川水系 : 筑後川(片ノ瀬、荒瀬、小湫、杖立)、宝満川(端間)、
巨瀬川(中央橋)、小石原川(栄田橋)

松浦川水系 : 巖木川(中島橋)、徳須恵川(徳須恵橋)

六角川水系 : 六角川(潮見橋)、牛津川(妙見橋)

嘉瀬川水系 : 嘉瀬川(川上)

山国川水系 : 山国川(柿坂)

菊池川水系 : 菊池川(玉名)、繁根木川(岩崎)、岩野川(城)

球磨川水系 : 球磨川(人吉、渡)

※ _____ の地点は、観測史上最高水位を観測。

2. ホットラインの実施

下記の 9 水系に関して 175 回のホットラインを実施。

遠賀川水系 65 回、筑後川水系 28 回、松浦川水系 14 回、六角川水系 25 回
嘉瀬川水系 9 回※、山国川水系 6 回、菊池川水系 13 回、球磨川水系 11 回
矢部川水系 4 回 ※佐賀導水に係るホットライン 4 回を含む

【ホットライン】河川事務所長から市町村長に対して河川の情報を直接提供する仕組み

3. 緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

7水系で計13回の洪水情報のプッシュ型配信を実施。

- 遠賀川水系 : 遠賀川(日の出橋、川島、中間)
- 筑後川水系 : 筑後川(片ノ瀬、荒瀬)
- 六角川水系 : 六角川(潮見橋)、牛津川(妙見橋)
- 松浦川水系 : 厳木川(中島橋)、徳須恵川(徳須恵橋)
- 山国川水系 : 山国川(柿坂)
- 菊池川水系 : 菊池川(玉名)
- 球磨川水系 : 球磨川(人吉、渡)

【洪水情報】指定河川洪水予報の氾濫危険情報(レベル4)及び氾濫発生情報(レベル5)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報
【プッシュ型配信】受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組み

4. 主な施設被害

<国管理区間>

- 松浦川水系徳須恵川 河岸決壊に伴う護岸の崩落
(位置 6k830~6k940 左岸、延長約 110m)
→緊急復旧工事中(7/13 完了予定)

<県管理区間>

- 筑後川水系大刀洗川(福岡県管理区間) 堤防決壊
(位置 9k200 付近左岸、延長22m)
→緊急復旧工事完了(7/9 17:00)

5. 主な一般被害

筑後川水系の^{くるめ}久留米市、遠賀川水系の^{いづか}飯塚市等において、支川氾濫等の内水により浸水被害が発生(解消済み)。

- 筑後川水系 久留米市 1,575 棟(床上 202、床下 1,373)
- 遠賀川水系 飯塚市 570 棟(床上 303、床下 267)
- こたけ 小竹町 55 棟(床上 13、床下 42)
- のおがた 直方市 82 棟(床上 27、床下 55) 等

※ 出典 福岡県公表資料「7月5日からの大雨に関する情報(第24報)」

平成30年7月豪雨における出水について【詳細版】 (第2報)

(遠賀川水系、筑後川水系、松浦川水系、六角川水系、
嘉瀬川水系、山国川水系、菊池川水系、球磨川水系)

九州地方整備局
平成30年7月12日

目 次

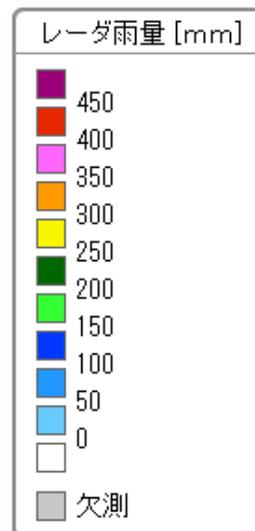
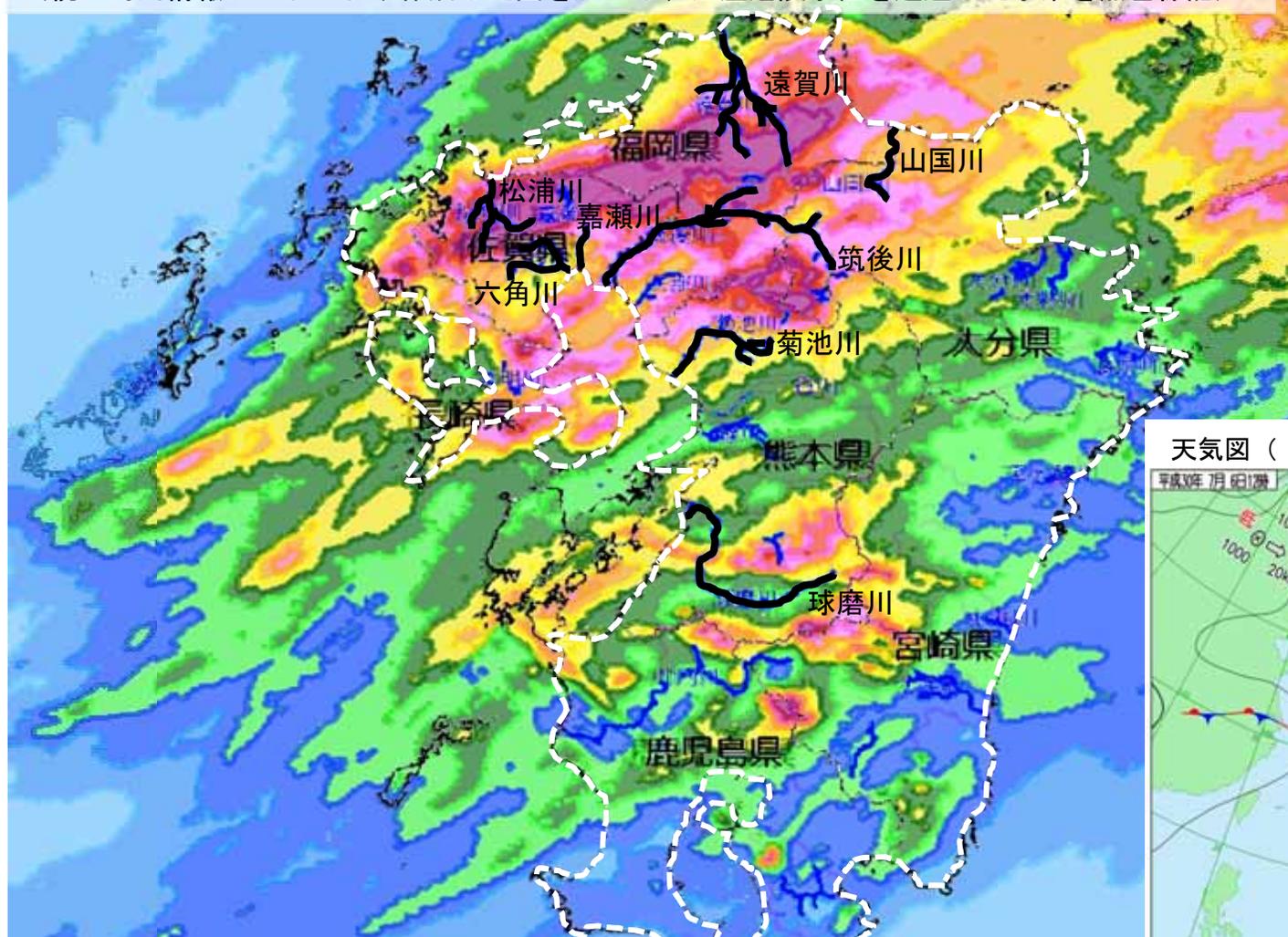
1. 気象・降雨の概要	1～
2. 九州地方整備局管内の直轄管理河川の状況	2～
3. 降雨の概要	3～
4. 水位の概要	11～
5. 出水状況写真	30～
6. 被害箇所位置及び緊急復旧工事の状況	34～
7. ホットライン実施状況	36～（今回追加）
8. 治水事業の効果	39～（今回追加）

1. 気象・降雨の概要

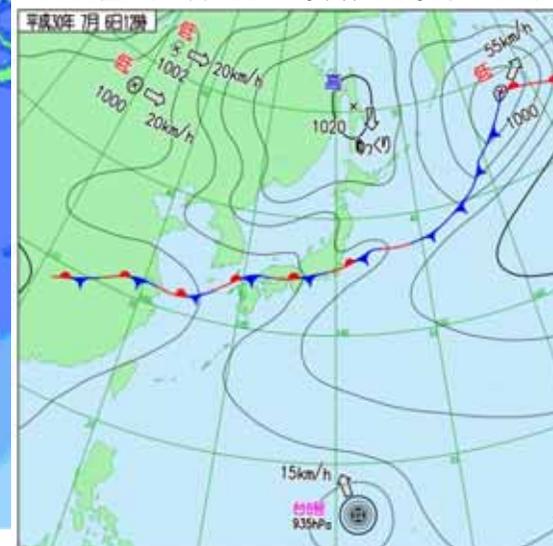
○7月5日（木）から7日（土）にかけて、梅雨前線の活発な活動により九州の広範囲に強い雨域がかかり、**多くの雨量観測所で観測史上最多の日雨量を観測する記録的な大雨**となりました。

7/5 6:00~7/7 12:00累積レーダ雨量

（統一河川情報システムより作成した図を加工し、氾濫危険水位を超過した水系を黒色標記）



天気図（7月6日12時頃、気象庁HPより）



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

2. 九州地方整備局管内の直轄管理河川の状況

【平成30年7月12日15時現在】

○広範囲にわたる大雨の結果、九州内20の一級水系のうち、8水系で氾濫危険水位を超過し、遠賀川、筑後川両水系では9つの水位観測所で観測史上最高水位を観測。

1. 河川出水状況（直轄河川）

○レベル4（氾濫危険水位超過）＜8水系＞

- ・遠賀川、筑後川、山国川、松浦川、六角川、嘉瀬川、菊池川、球磨川

※現在水位は水防団待機水位以下まで降下

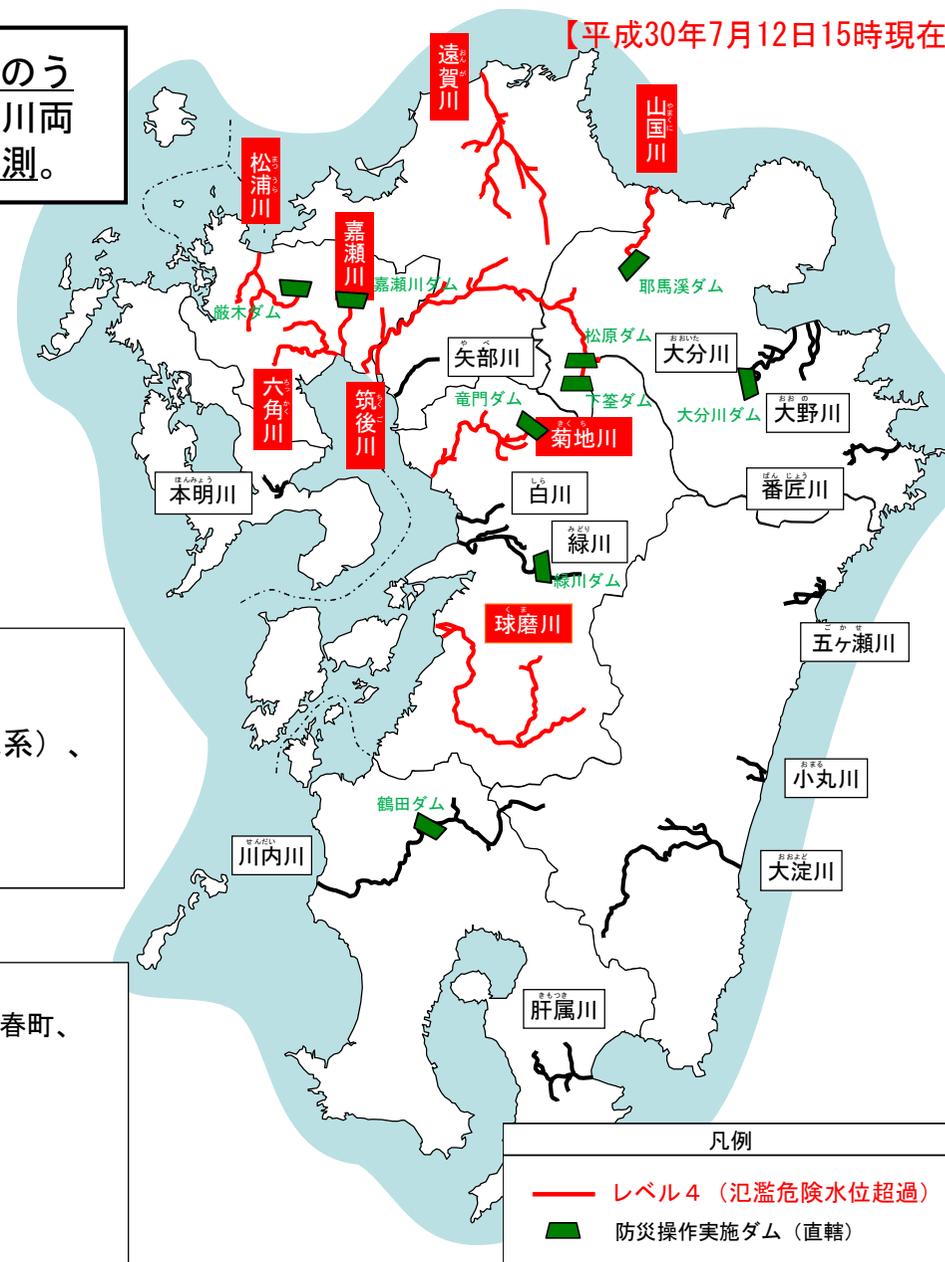
2. 直轄ダム洪水調節状況（直轄河川）

○直轄9ダムで防災操作を実施

- 厳木ダム（松浦川水系）、嘉瀬川ダム（嘉瀬川水系）、
 - 下笠ダム・松原ダム（筑後川水系）、耶馬溪ダム（山国川水系）、
 - 竜門ダム（菊池川水系）、緑川ダム（緑川水系）、
 - 鶴田ダム（川内川水系）、大分川ダム※（大分川水系）
- ※試験湛水中であったが貯留による洪水処理を実施

3. 避難指示等の状況

- 福岡県5市、4町、1村で避難指示
久留米市、飯塚市、田川市、小郡市、嘉麻市、大刀洗町、広川町、香春町、赤村、福智町
 - 佐賀県2市、1町で避難指示
唐津市、武雄市、吉野ヶ里町
 - 熊本県1市、2村で避難指示
玉名市、相良村、五木村
 - 大分県1市で避難指示
中津市
- 避難勧告は23市、23町、5村で発令



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 降雨の概要（遠賀川流域の雨量）

遠賀川流域では、近年の主な出水時（H15、H24）の降雨と比較して、流域内の多くの雨量観測所で、観測史上最多日雨量を記録しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量



※観測史上最多: H21.7.24 (282mm/日)



※観測史上最多: S30.4.15 (272mm/日)



※これまでの観測史上最多: H7.7.2 (290mm/日)



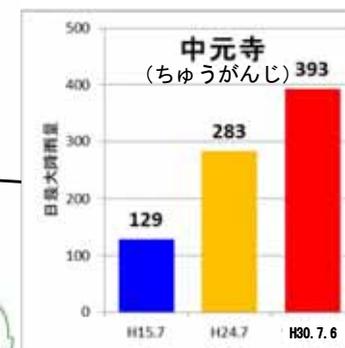
※これまでの観測史上最多: H21.7.24 (256mm/日)



※これまでの観測史上最多: H24.7.14 (304mm/日)



※これまでの観測史上最多: H7.7.2 (300mm/日)



※これまでの観測史上最多: H24.7.14 (283mm/日)

△ 氾濫危険水位を超過した観測所

本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 降雨の概要（筑後川流域の雨量）

筑後川流域では、近年の主な出水時（H24、H29）の降雨と比較して、久留米(くるめ)雨量観測所や原田(はるだ)雨量観測所などで、観測史上最多日雨量を記録しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量



△ 氾濫危険水位を超過した観測所



本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

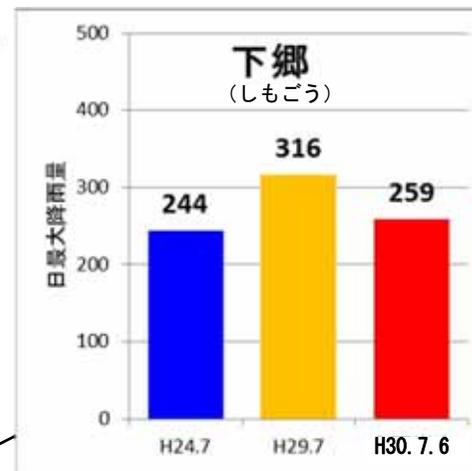
3. 降雨の概要（山国川流域の雨量）

山国川流域では、近年の主な出水時（H24、H29）の降雨と比較して、古後（ここ）雨量観測所において観測史上最多日雨量を記録しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量



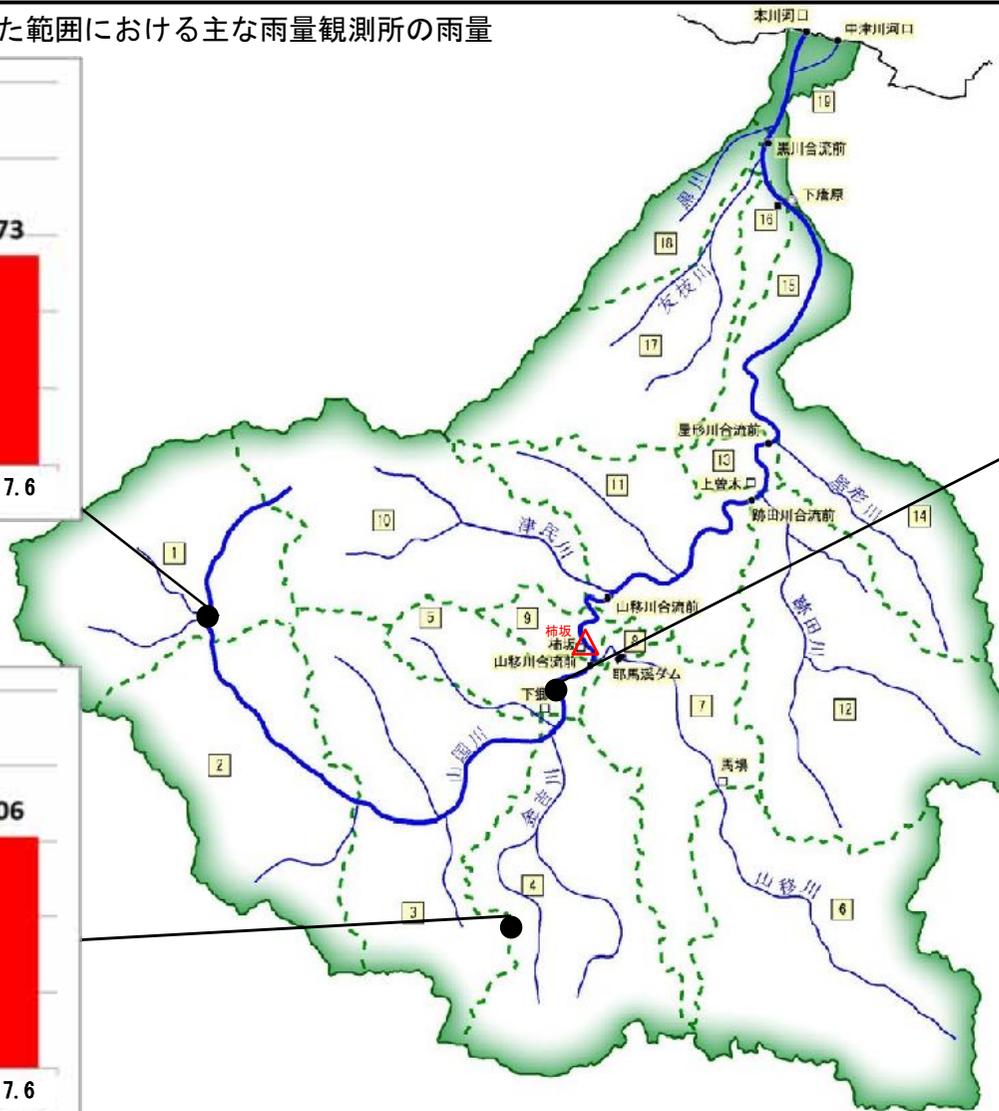
※観測史上最多: H29.7.5 (345mm/日)



※観測史上最多: H29.7.5 (316mm/日)



※これまでの観測史上最多: H24.7.14 (233mm/日)



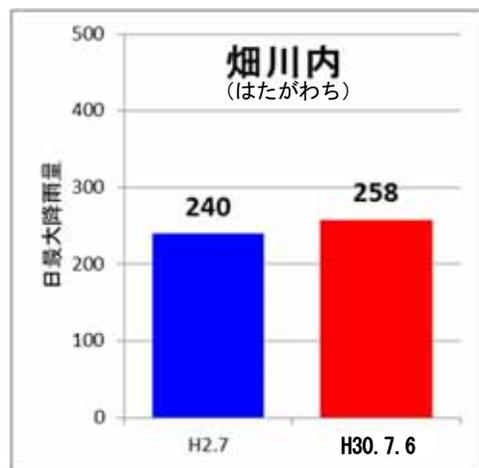
△ 氾濫危険水位を超過した観測所

本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 降雨の概要（松浦川流域の雨量）

松浦川流域では、近年の主な出水時（H2）の降雨と比較して、厳木ダム(きゅうらぎだむ)雨量観測所において観測史上最多日雨量を記録しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量



※観測史上最多: H14.9.16 (338mm/日)

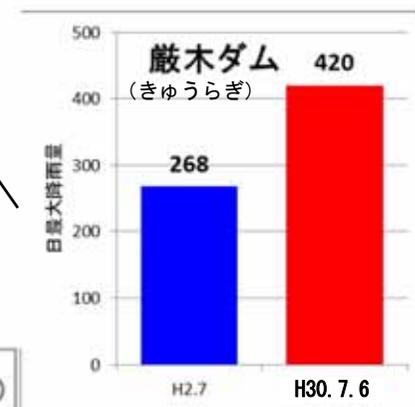


※観測史上最多: H18.9.16 (349mm/日)



△ 氾濫危険水位を超過した観測所

大臣管理区間(延長63.3km)



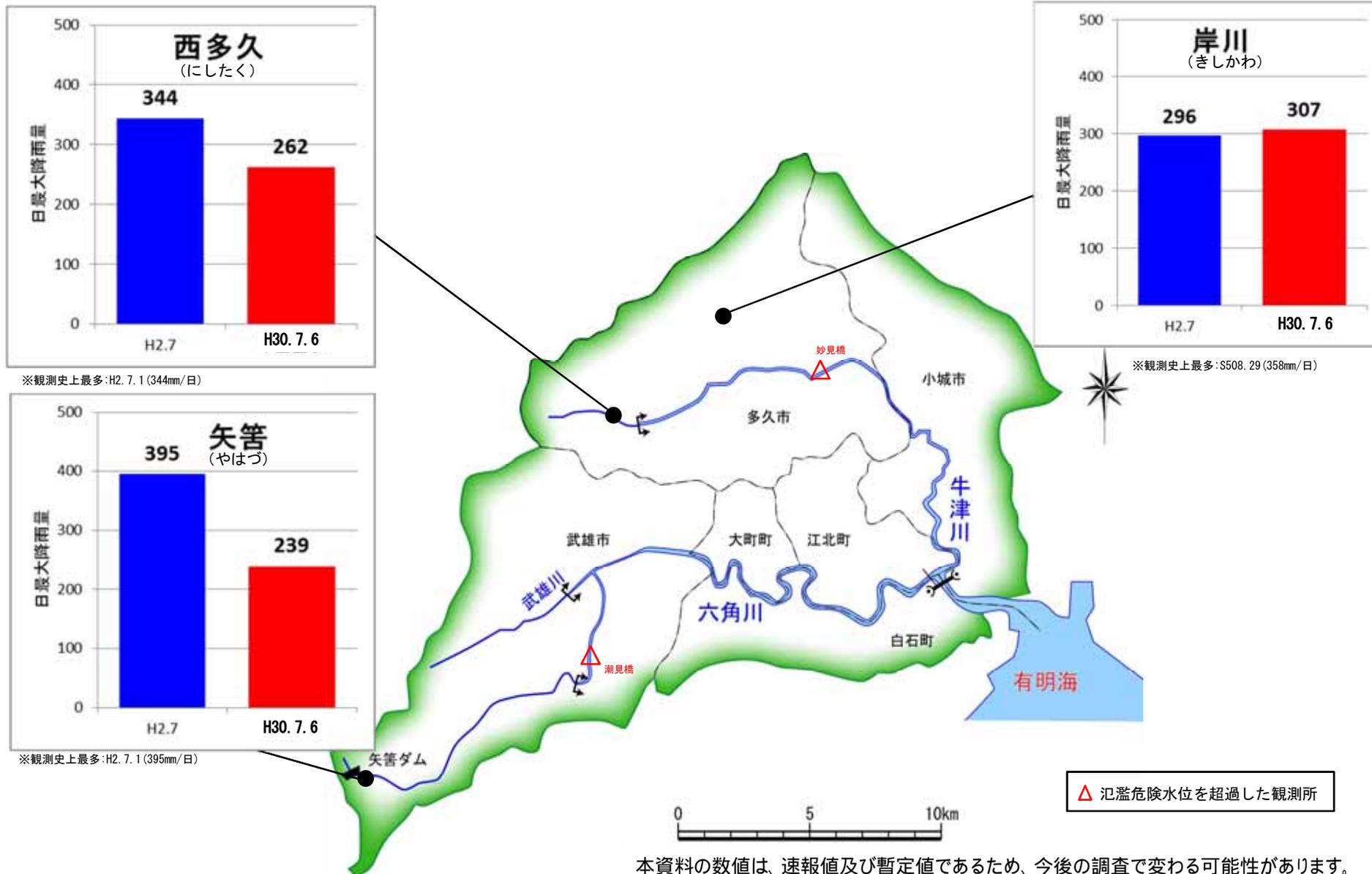
※これまでの観測史上最多: H13.6.19 (281mm/日)

本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 降雨の概要（六角川流域の雨量）

六角川流域では、岸川(きしかわ)雨量観測所において、近年の主な出水（H2）を超える雨量を記録しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量

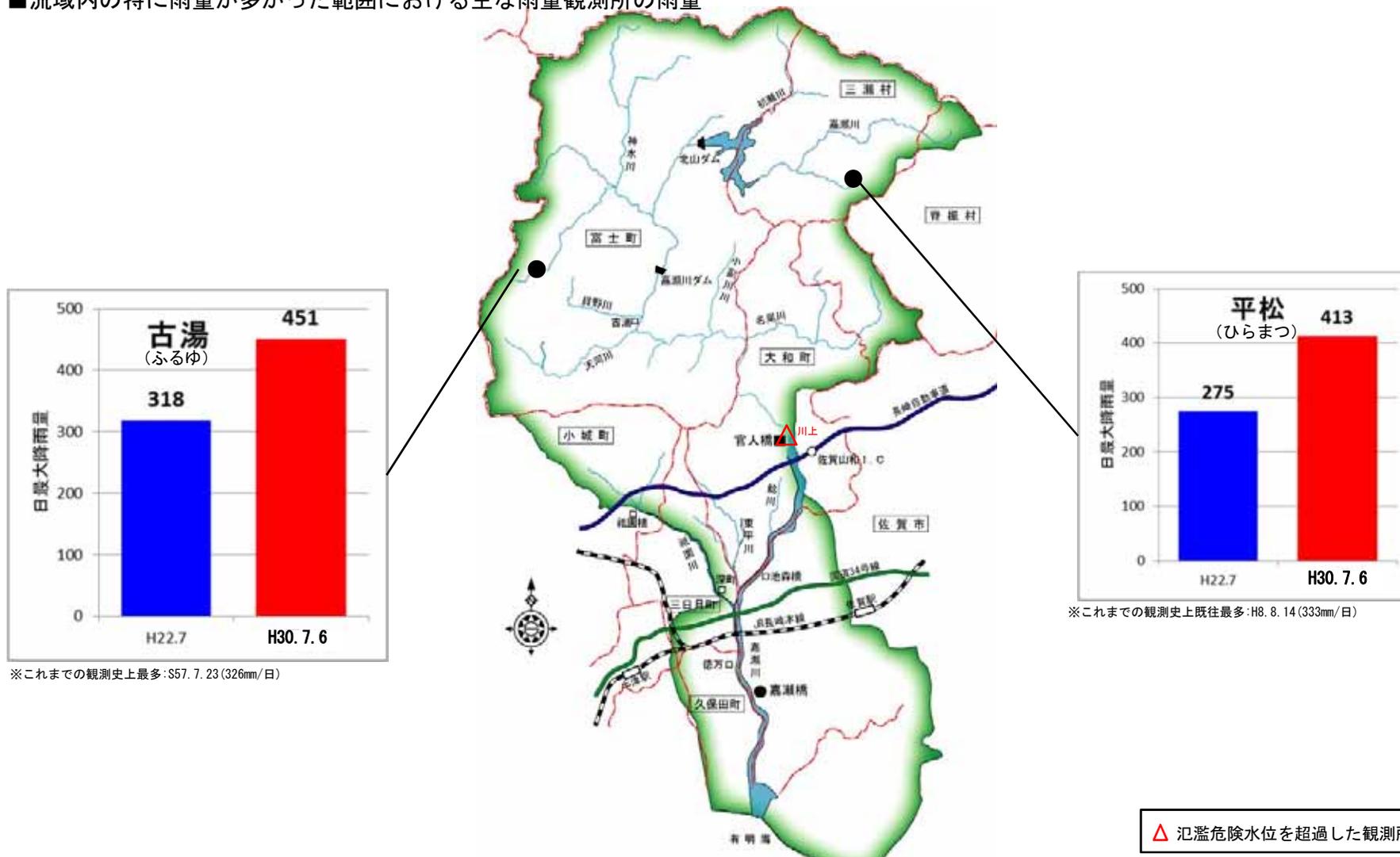


本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 降雨の概要（嘉瀬川流域の雨量）

嘉瀬川流域では、近年の主な出水時（H22）の降雨と比較して、古湯（ふるゆ）雨量観測所や平松（ひらまつ）雨量観測所において観測史上最多日雨量を記録しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量



本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

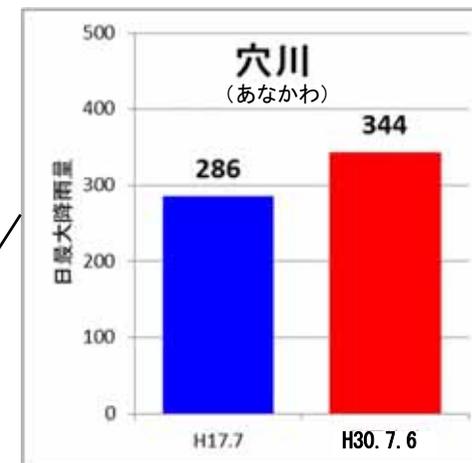
3. 降雨の概要（菊池川流域の雨量）

菊池川流域では、近年の主な出水時（H17）の降雨と比較して、岳間(たけま)雨量観測所において観測史上最多日雨量を記録しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量



※これまでの観測史上最多：H28.6.22 (323mm/日)



※観測史上最多：H11.6.24 (394mm/日)

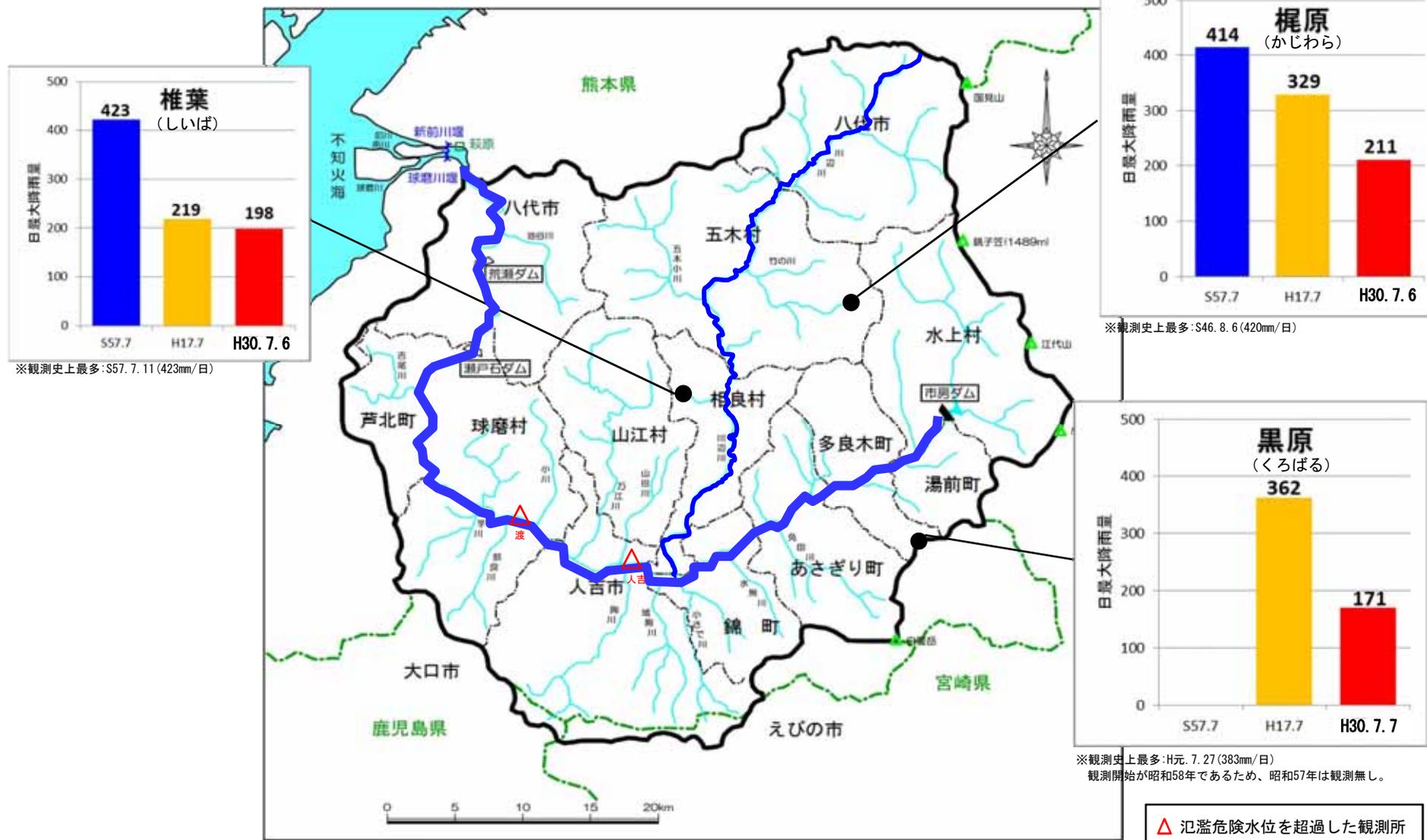


本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 降雨の概要（球磨川流域の雨量）

球磨川流域では、過去に水害が発生した出水時(S57,H17)の降雨量には及ばなかったものの、人吉水位観測所と渡水位観測所で氾濫危険水位を超過しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量



本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の全体概要

梅雨前線の活発な活動により、九州の8水系（遠賀川、筑後川、松浦川、六角川、嘉瀬川、山国川、菊池川、球磨川）において氾濫危険水位を超える洪水が発生し、9観測所において観測史上最高水位を記録しました。

【氾濫危険水位を超過した水位観測所一覧】



水系名	河川名	観測所名	今回最高水位(m)	観測史上最高水位
遠賀川	遠賀川	川島(かわしま)	6.16	5.88(H15.7.19) ※2
遠賀川	遠賀川	日の出橋(ひのでばし)	8.63	8.06(H22.7.14) ※2
遠賀川	遠賀川	中間(ななかま)	5.52	5.37(S28.6.26) ※2
遠賀川	中元寺川	春日橋(かすがばし)	4.26	4.97(H24.7.14)
遠賀川	穂波川	秋松橋(あきまつばし)	5.79	6.84(H15.7.19)
遠賀川	笹尾川	野面(のぶ)	3.13	3.00(H21.7.24) ※2
遠賀川	八木山川	生見(ぬくみ)	3.23	3.10(S62.7.19) ※2
遠賀川	金辺川	夏吉(なつよし)	4.57	4.79(H15.7.19)
筑後川	筑後川	片ノ瀬(かたのせ)	9.36	10.3(H29.7.5)
筑後川	筑後川	荒瀬(あらせ)	6.9	7.35(H24.7.14)
筑後川	筑後川	小瀬(こぶち)	4.61	4.60(S38.8.17)
筑後川	筑後川	杖立(つえたて)	7.33	9.36(H2.7.2) ※2
筑後川	宝満川	端間(はたま)	5.47	4.67(S47.7.10) ※2
筑後川	巨瀬川	中央橋(ちゅうおうばし)	3.14	2.93(H24.7.14) ※2
筑後川	小石原川	栄田橋(さかえだばし)	4.40	3.79(H22.7.14) ※2
松浦川	厳木川	中島橋(なかしまばし)	2.71	4.05(S57.7.24)
松浦川	徳須恵川	徳須恵橋(とくすえばし)	5.73	6.62(S47.7.12)
六角川	六角川	潮見橋(しおみばし)	4.40	5.31(S54.6.29)
六角川	牛津川	妙見橋(みょうけんばし)	5.47	6.04(H2.7.2)
嘉瀬川	嘉瀬川	川上(かわかみ)	5.73	6.01(H22.7.14)
山国川	山国川	柿坂(かきさか)	5.81	6.89(H29.7.5)
菊池川	菊池川	玉名(たまな)	5.99	6.85(H2.7.2)
菊池川	繁根木川	岩崎(いわさき)	1.87	2.62(S47.7.12)
菊池川	岩野川	城(じょう)	5.02	5.51(H17.7.10)
球磨川	球磨川	人吉(ひとよし)	3.50	4.60(S57.7.25)
球磨川	球磨川	渡(わたり)	8.75	11.0(S57.7.25)

※1 赤字は今回の降雨によりこれまでの観測史上最高水位を超過したもの
 ※2 これまでの観測史上最高水位

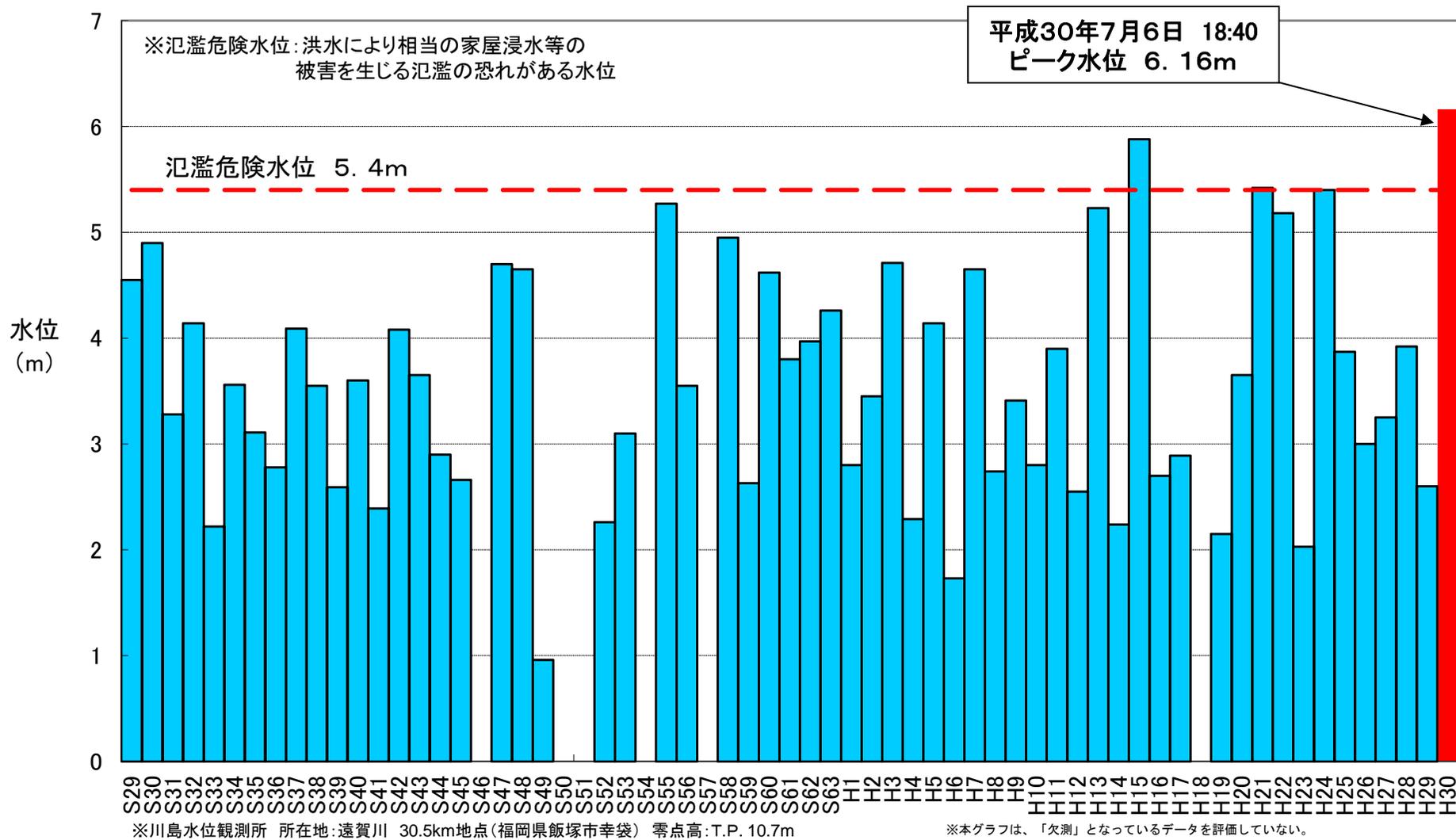
本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の概要①-1 (遠賀川水系遠賀川)

遠賀川水系遠賀川の川島(かわしま)水位観測所において、7月6日18時40分に観測史上最高水位となる6.16mを記録しました。

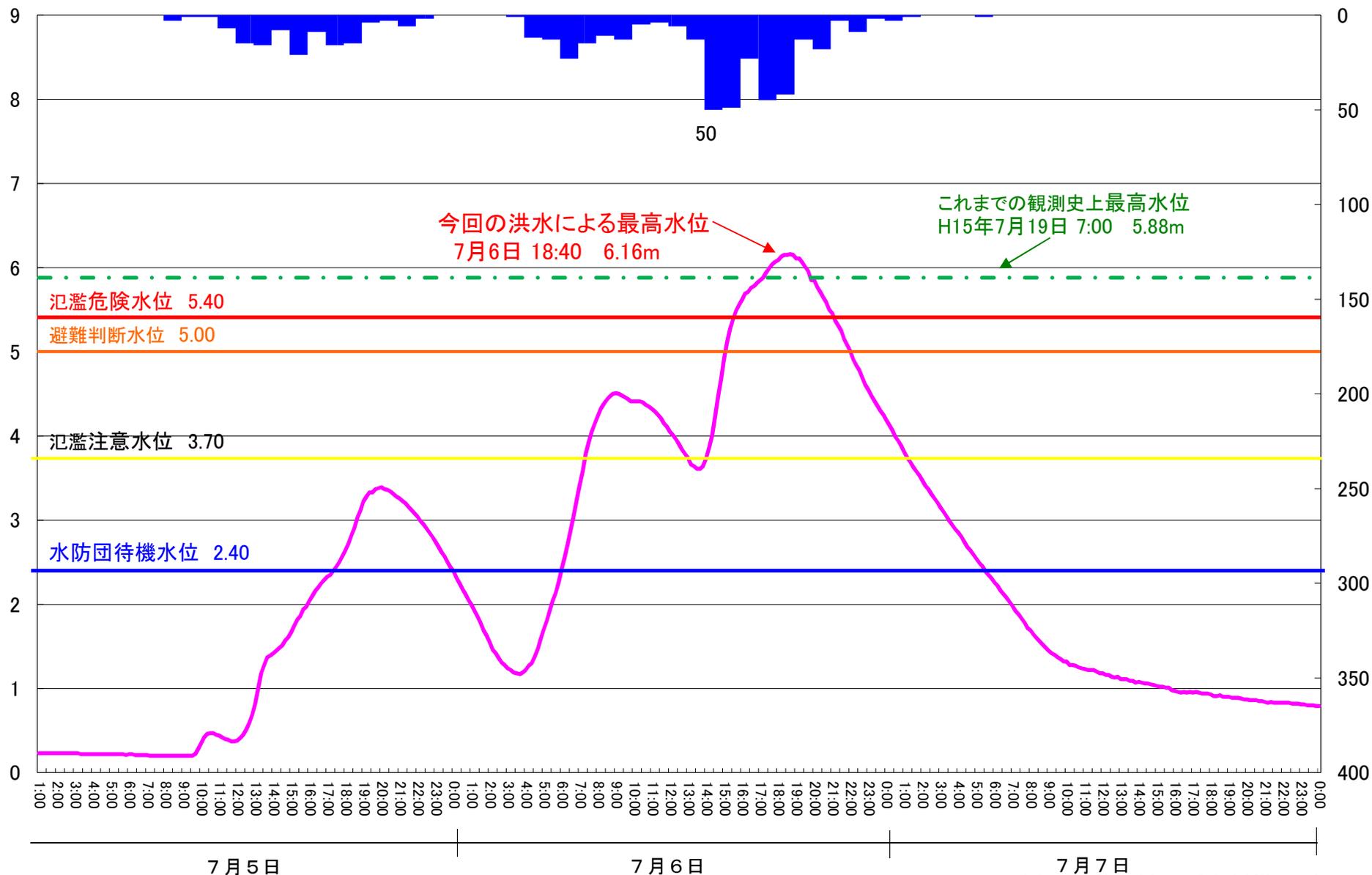
遠賀川(川島水位観測所の年最高水位比較図

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



4. 水位の概要①-2 (遠賀川水系遠賀川)

遠賀川水系遠賀川 平成30年7月6日出水 川島水位観測所一大隈雨量観測所



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

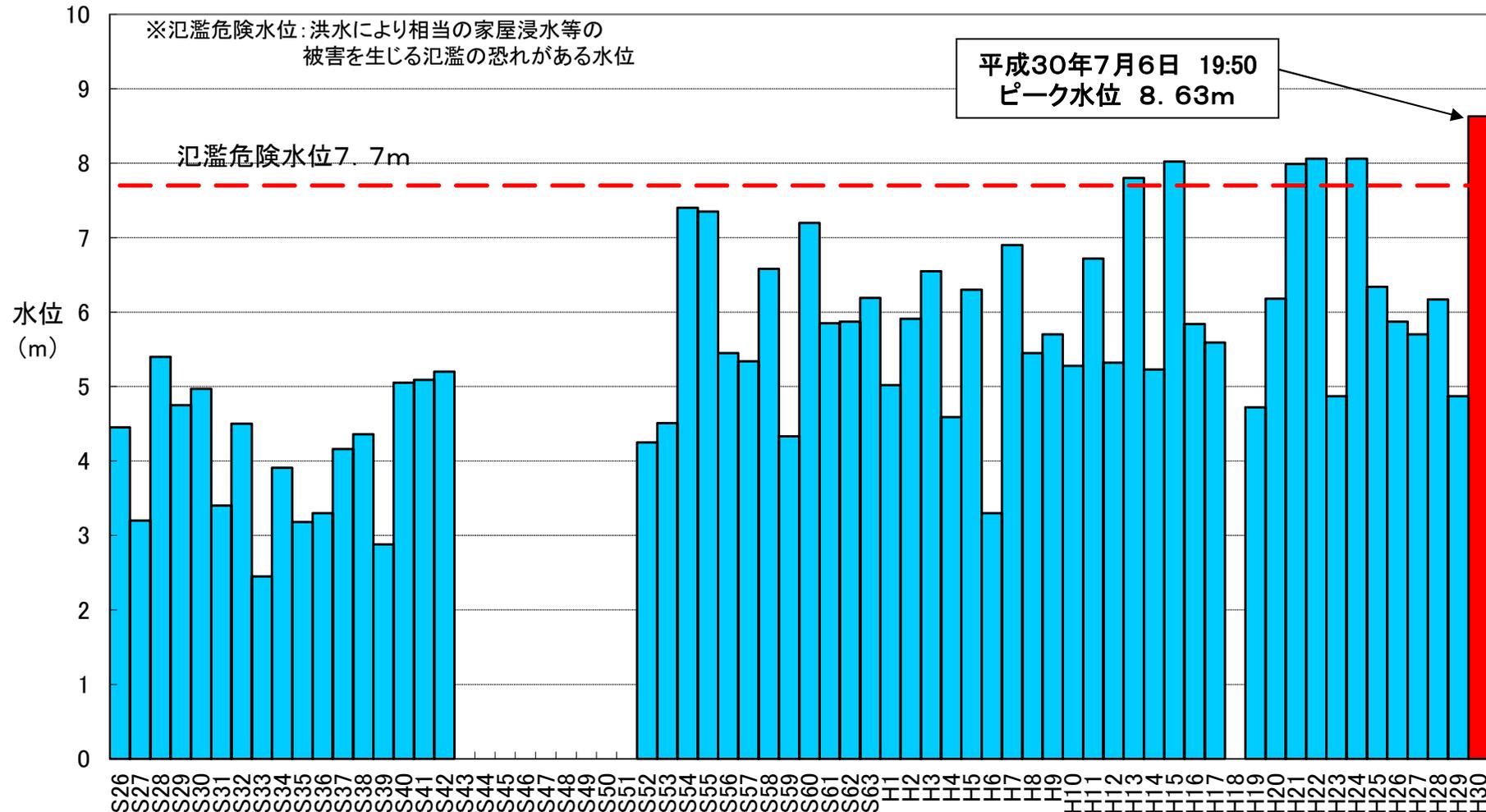
※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

4. 水位の概要②-1 (遠賀川水系遠賀川)

遠賀川水系遠賀川の日の出橋(ひのでばし)水位観測所において、7月6日19時50分に観測史上最高水位となる8.63mを記録しました。

遠賀川(日の出橋水位観測所)の年最高水位比較図

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

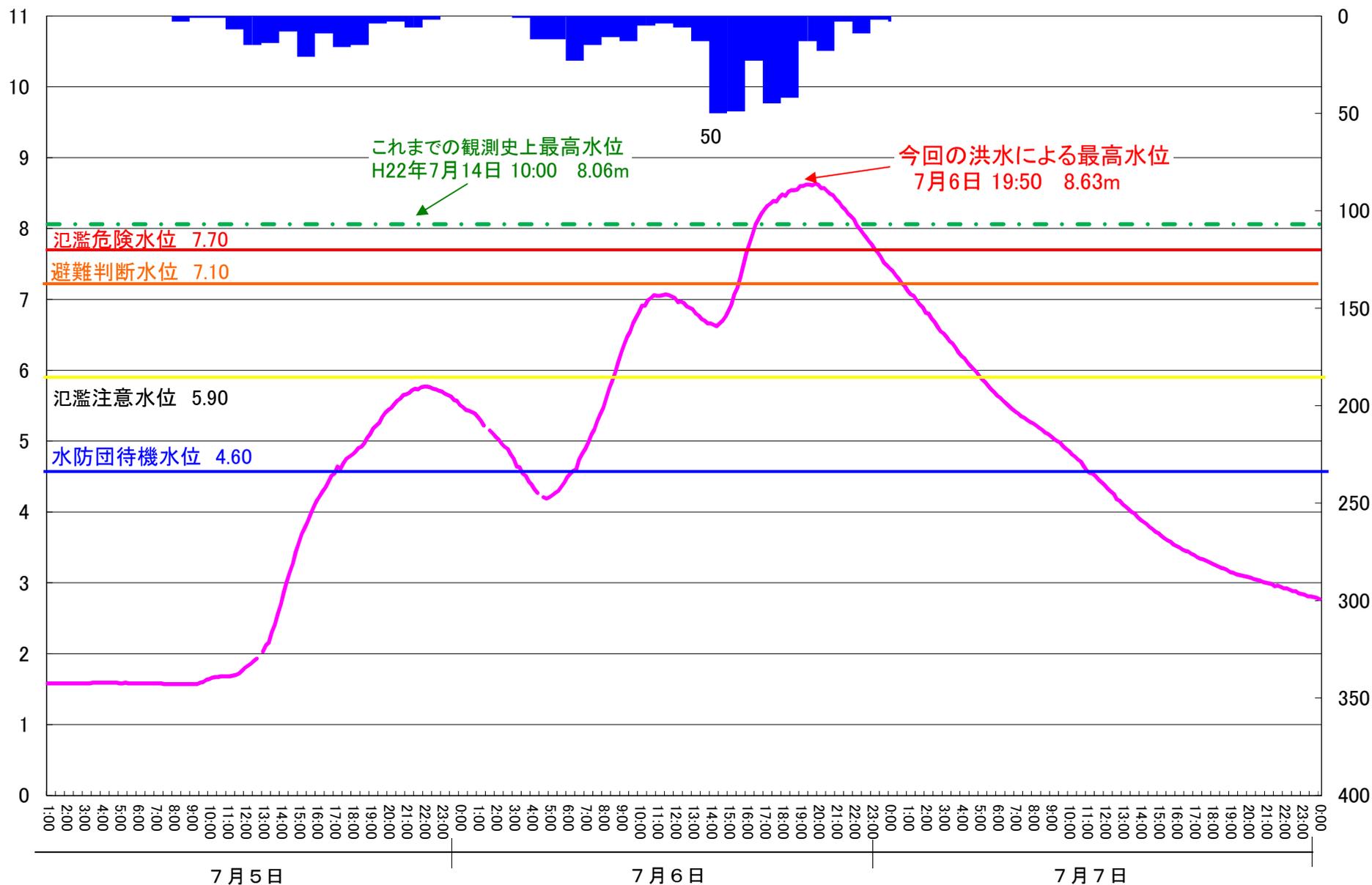


※日の出橋水位観測所 所在地:遠賀川 18.7km地点(福岡県直方市津田町) 零点高:T.P. 2.00m

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

4. 水位の概要②-2 (遠賀川水系遠賀川)

遠賀川水系遠賀川 平成30年7月6日出水 日の出橋水位観測所—大隈雨量観測所



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

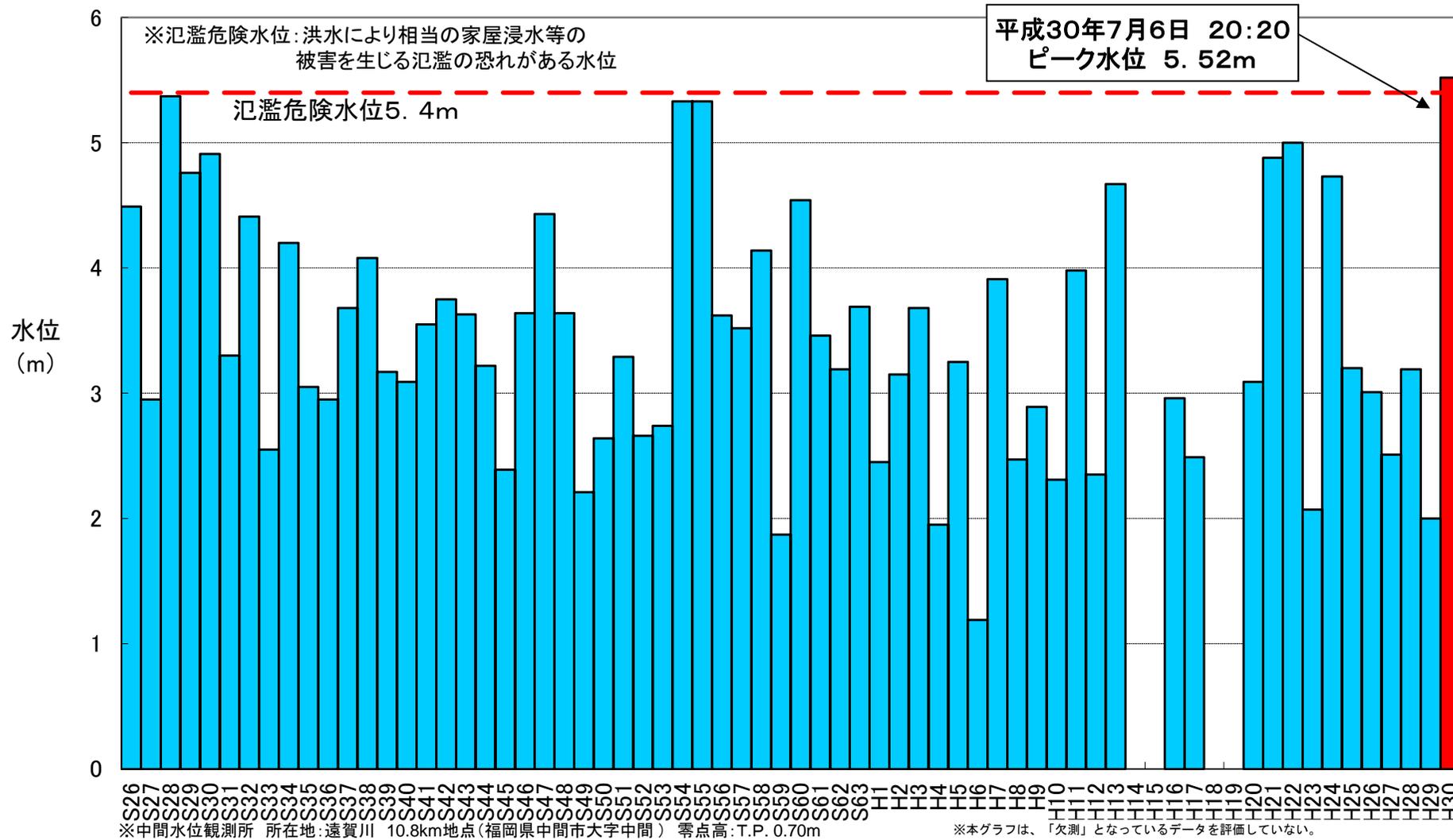
※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

4. 水位の概要③-1 (遠賀川水系遠賀川)

遠賀川水系遠賀川の中間(なかま)水位観測所において、7月6日20時20分に観測史上最高水位となる5.52mを記録しました。

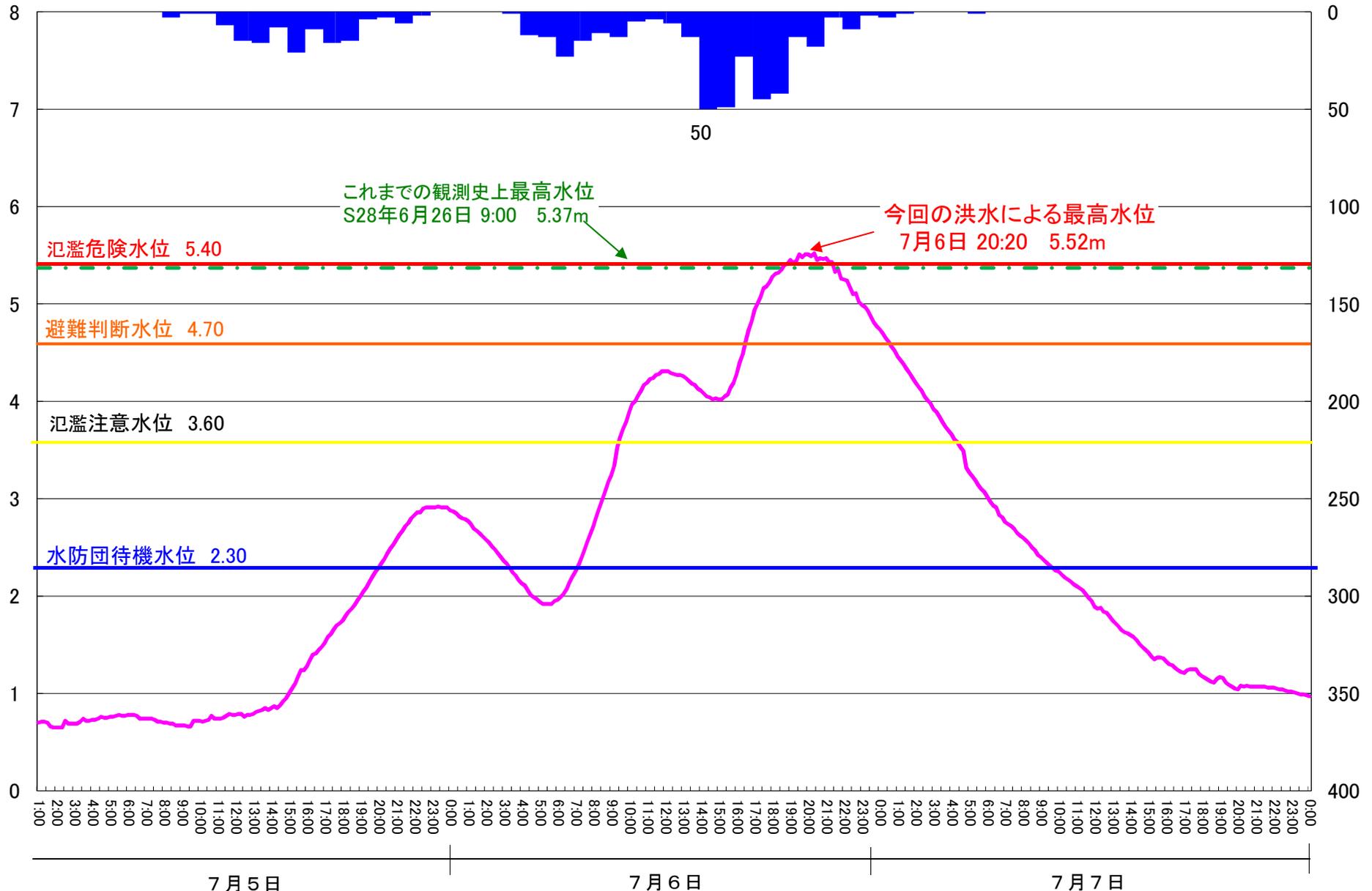
遠賀川(中間水位観測所)の年最高水位比較図

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



4. 水位の概要③-2 (遠賀川水系遠賀川)

遠賀川水系遠賀川 平成30年7月6日出水 中間水位観測所一大隈雨量観測所



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

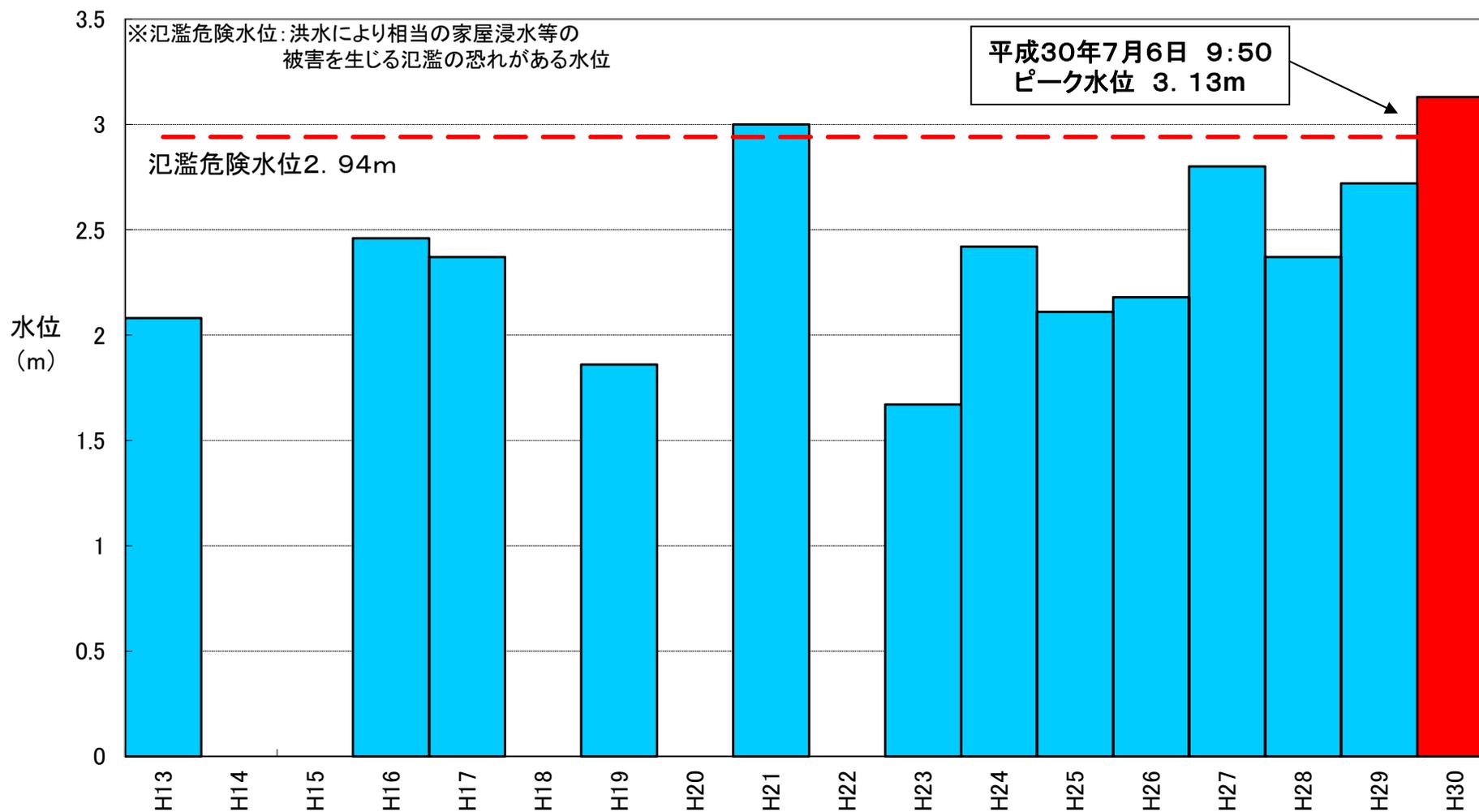
※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

4. 水位の概要④-1 (遠賀川水系笹尾川)

遠賀川水系笹尾川の野面(のぶ)水位観測所において、7月6日9時50分に観測史上最高水位となる3.13mを記録しました。

笹尾川(野面水位観測所)の年最高水位比較図

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

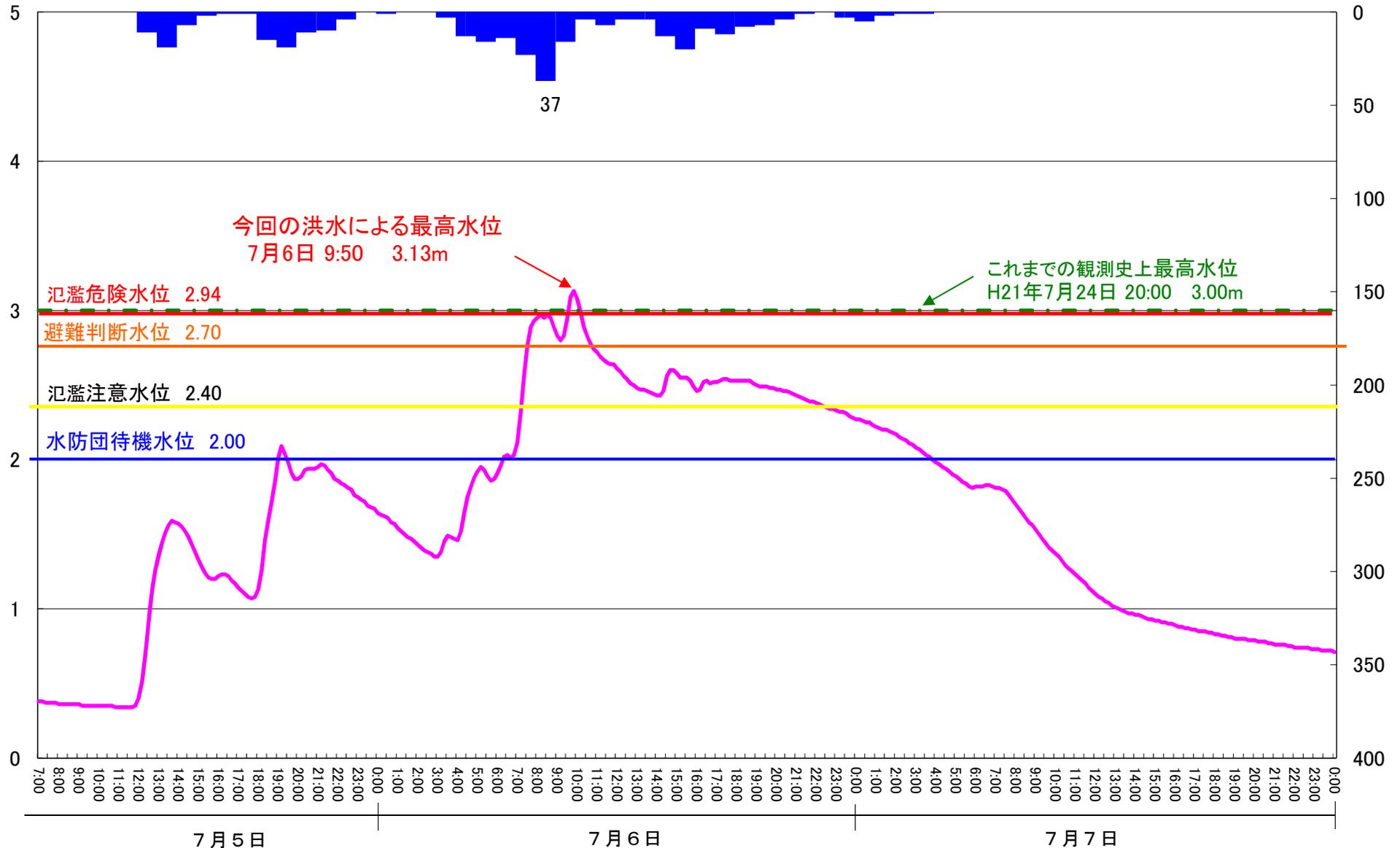


※野面水位観測所 所在地: 笹尾川 4.7km地点(福岡県北九州市八幡西区大字野面) 零点高: T.P. 3.0m

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

4. 水位の概要④-2 (遠賀川水系笹尾川)

遠賀川水系川笹尾川 平成30年7月6日出水 野面水位観測所一直方雨量観測所



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

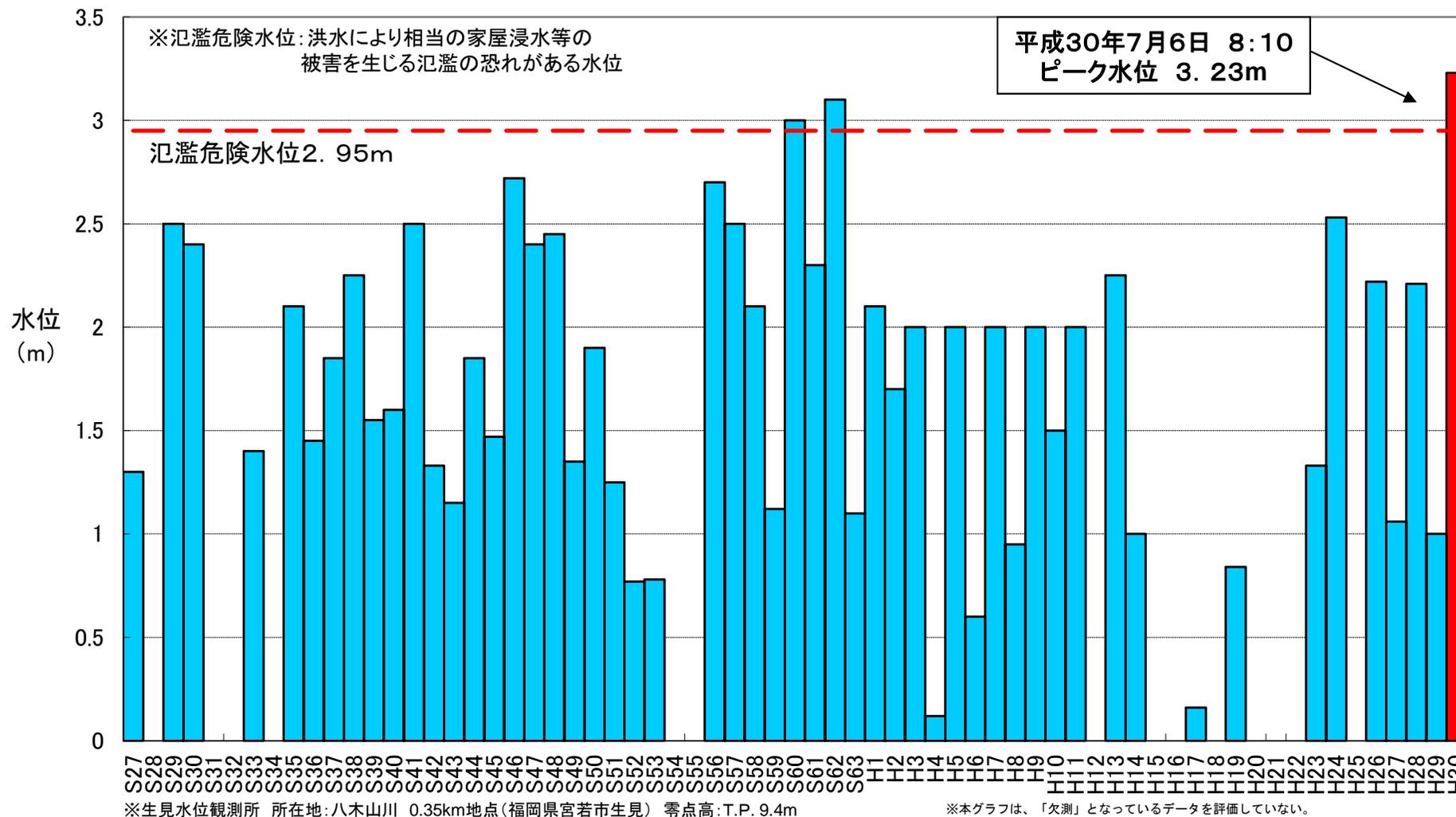
※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

4. 水位の概要⑤-1 (遠賀川水系八木山川)

遠賀川水系八木山川の生見(ぬくみ)水位観測所において、7月6日8時10分に観測史上最高水位となる3.23mを記録しました。

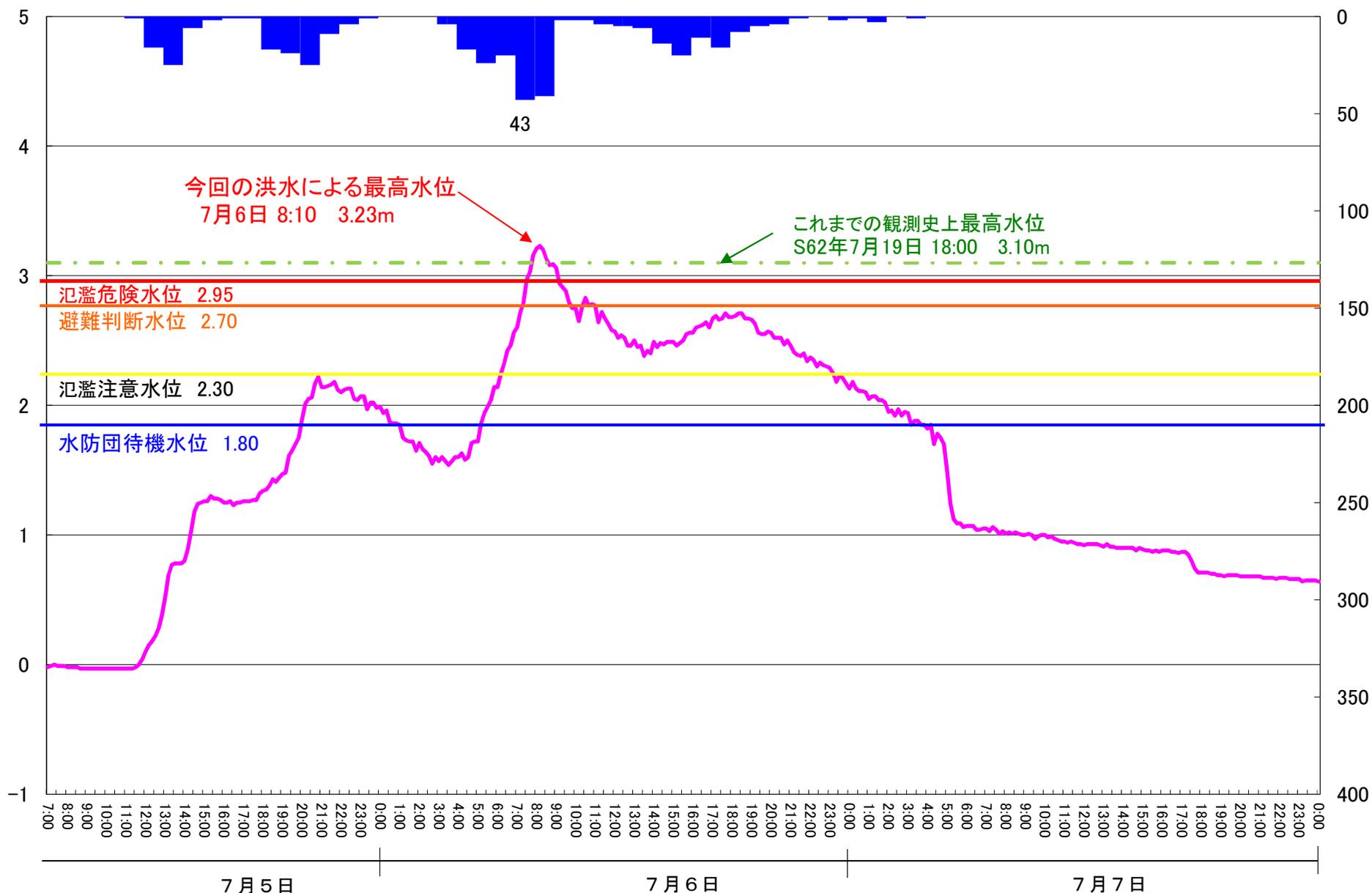
八木山川(生見水位観測所)の年最高水位比較図

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



4. 水位の概要⑤-2遠賀川水系八木山川)

遠賀川水系八木山川 平成30年7月6日出水 生見水位観測所-宮田雨量観測所



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

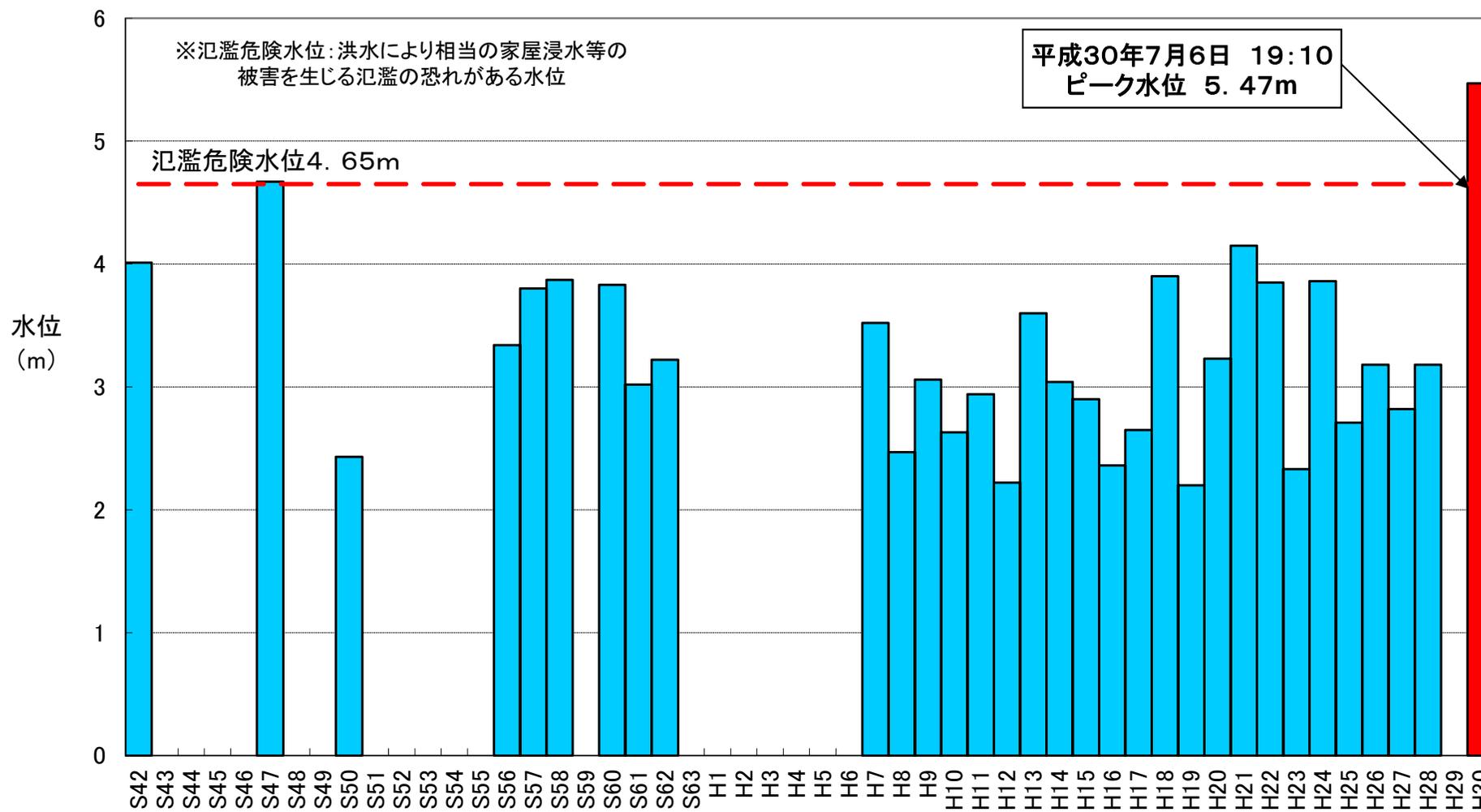
※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

4. 水位の概要⑥-1 (筑後川水系宝満川)

筑後川水系宝満川の端間 (はたま) 水位観測所において、7月6日19時10分に観測史上最高水位となる5.47mを記録しました。

宝満川(端間水位観測所)の年最高水位比較図

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

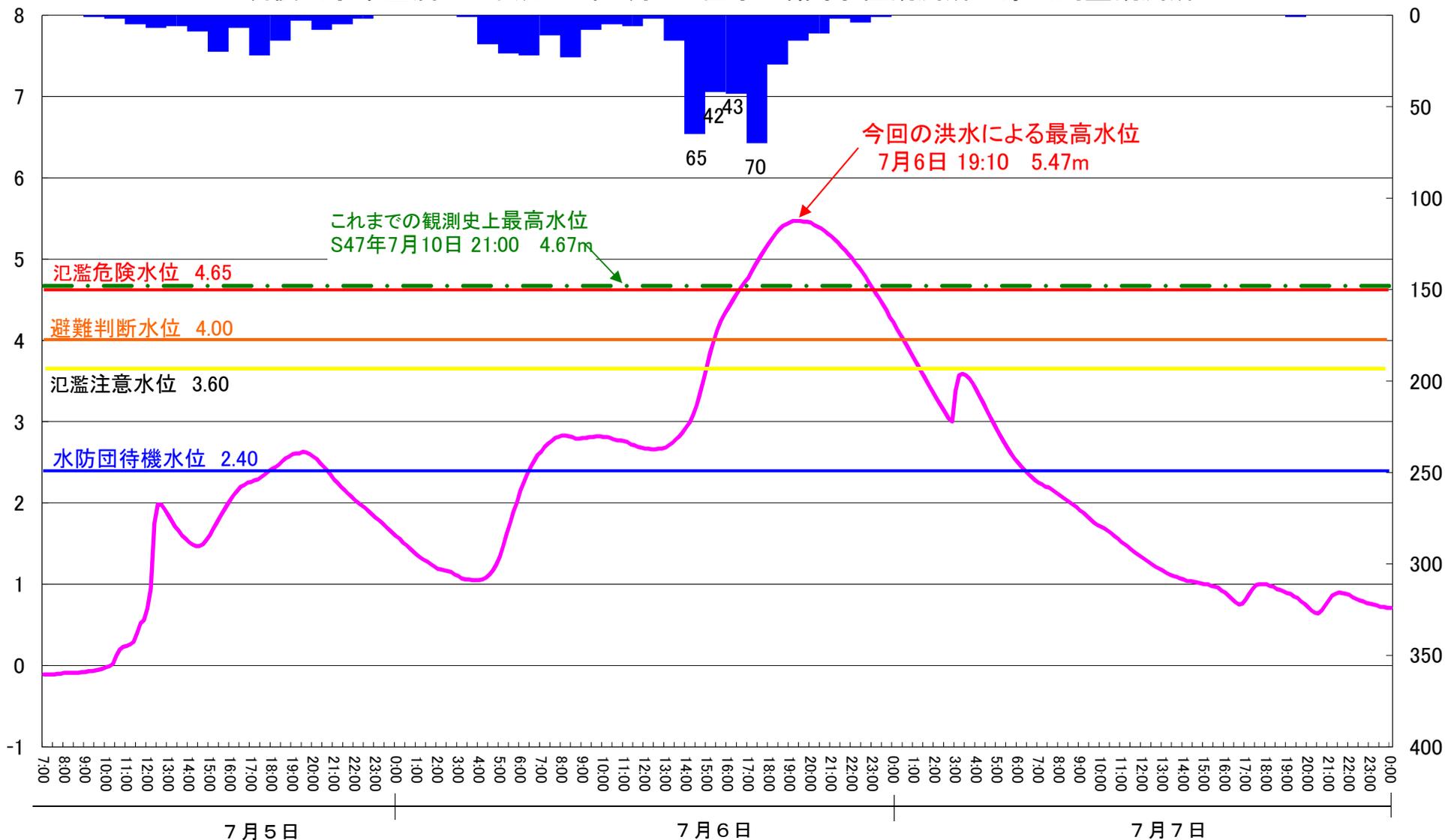


※端間水位観測所 所在地: 宝満川 7.93km地点(福岡県小郡市福童) 零点高:T.P. 6.8m

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

4. 水位の概要⑥-2 (筑後川水系宝満川)

筑後川水系宝満川 平成30年7月6日出水 端間水位観測所—原田雨量観測所



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

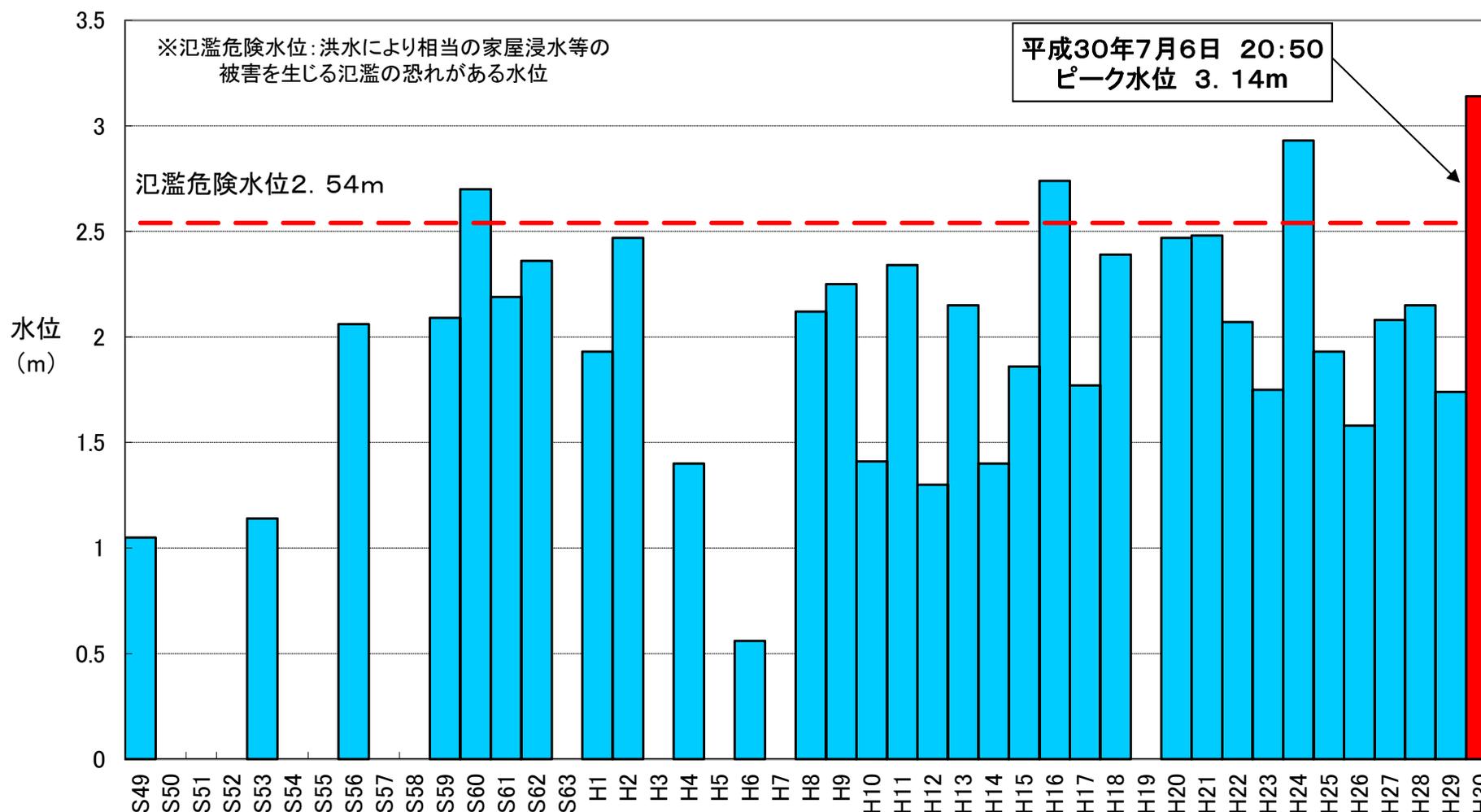
※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

4. 水位の概要⑦-1 (筑後川水系巨瀬川)

筑後川水系巨瀬川の中央橋(ちゅうおうばし)水位観測所において、7月6日20時50分に観測史上最高水位となる3.14mを記録しました。

巨瀬川(中央橋水位観測所)の年最高水位比較図

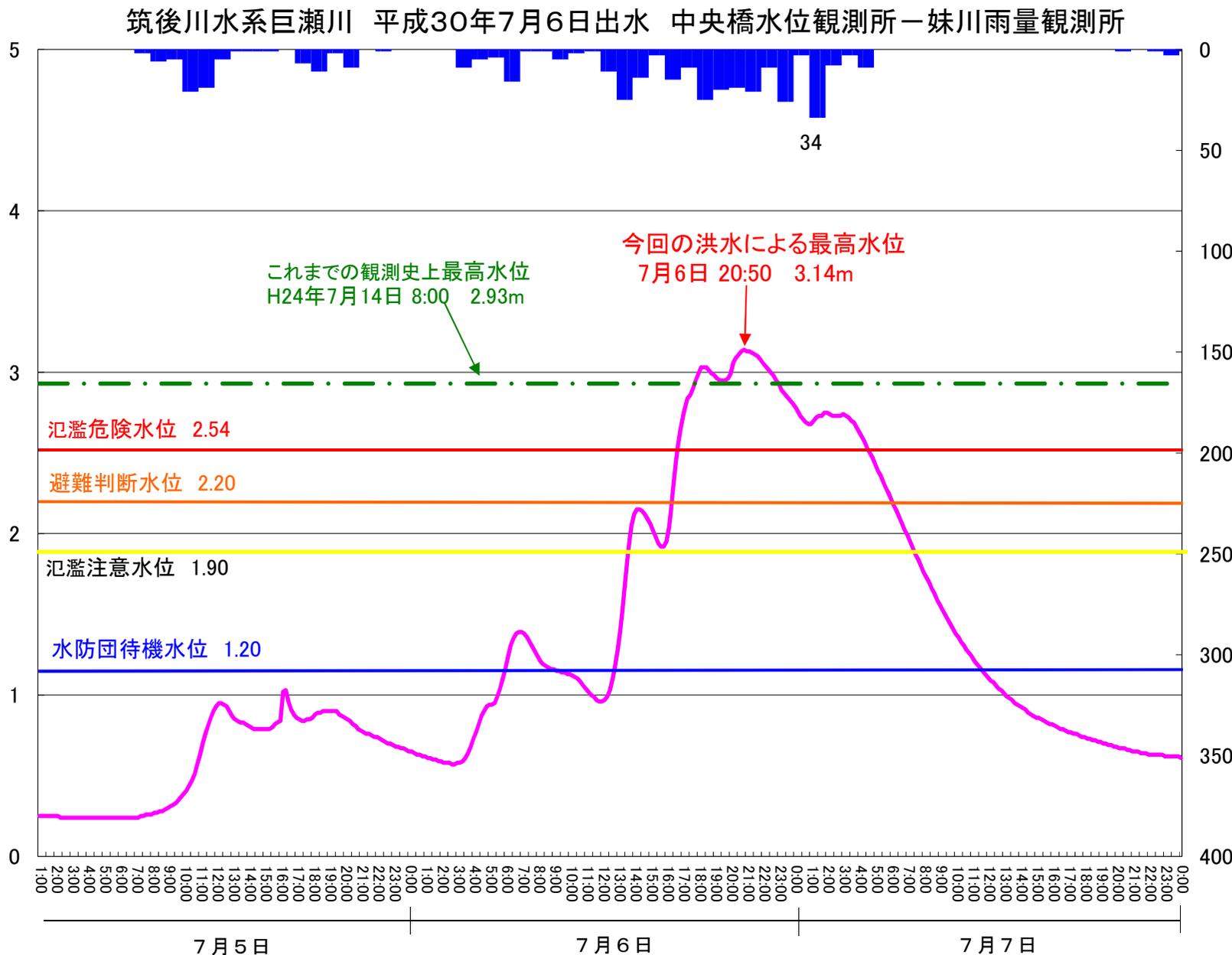
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



※中央橋水位観測所 所在地:巨瀬川 9.98km地点(福岡県久留米市田主丸町田主丸) 零点高:T.P. 15.2m

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

4. 水位の概要⑦-2 (筑後川水系巨瀬川)



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

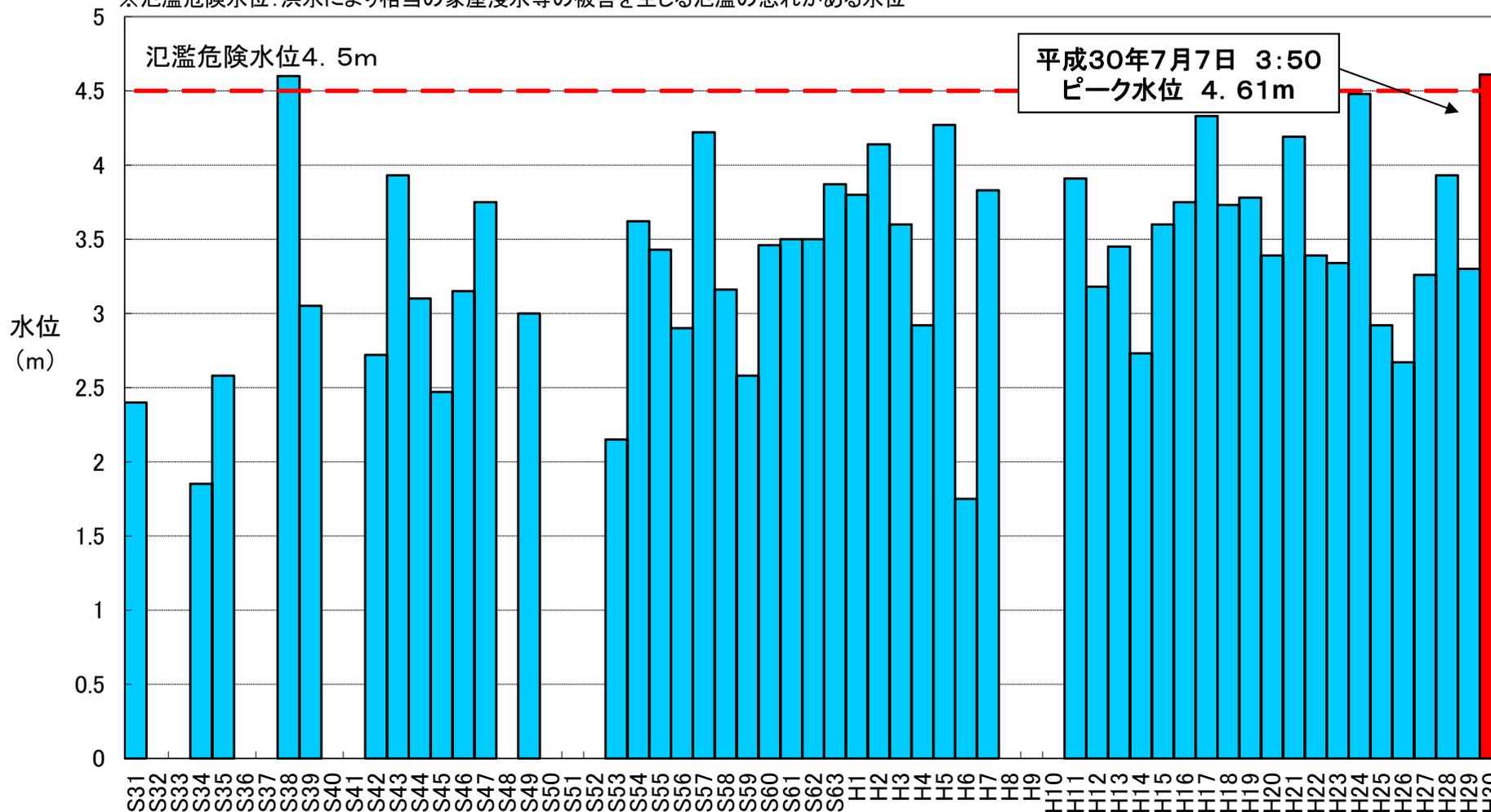
4. 水位の概要⑧-1 (筑後川水系筑後川)

筑後川水系筑後川の小渕 (こぶち) 水位観測所において、7月7日3時50分に観測史上最高水位となる4.61mを記録しました。

筑後川(小渕水位観測所)の年最高水位比較図

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

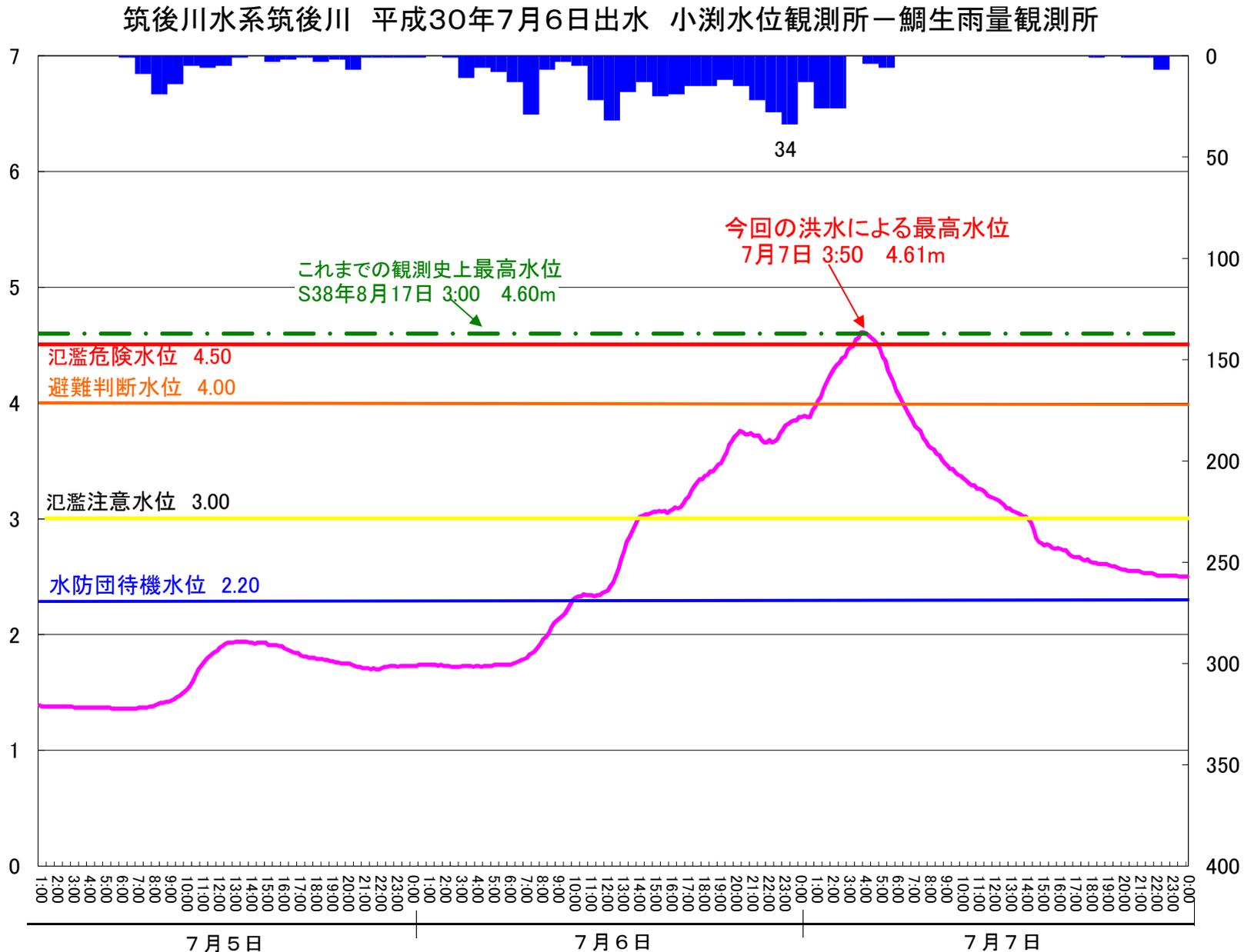
※氾濫危険水位：洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じる氾濫の恐れがある水位



※小渕水位観測所 所在地:筑後川 76.59km地点(大分県日田市若宮町) 零点高:T.P. 85.0m

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

4. 水位の概要⑧-2 (筑後川水系筑後川)



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

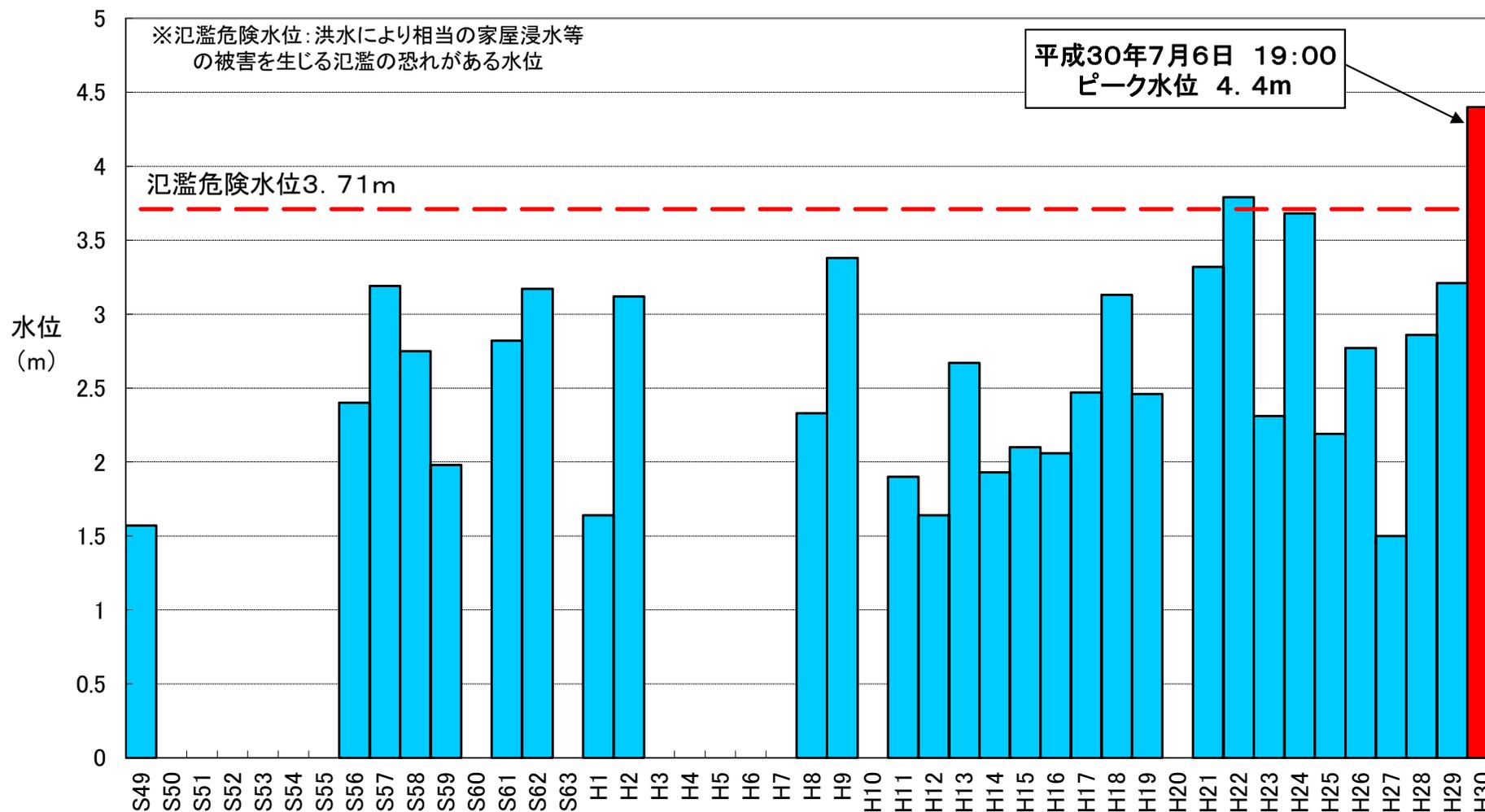
※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

4. 水位の概要⑨-1 (筑後川水系小石原川)

筑後川水系小石原川の栄田橋 (さかえだばし) 水位観測所において、7月6日19時00分に観測史上最高水位となる4.40mを記録しました。

小石原川(栄田橋水位観測所)の年最高水位比較図

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

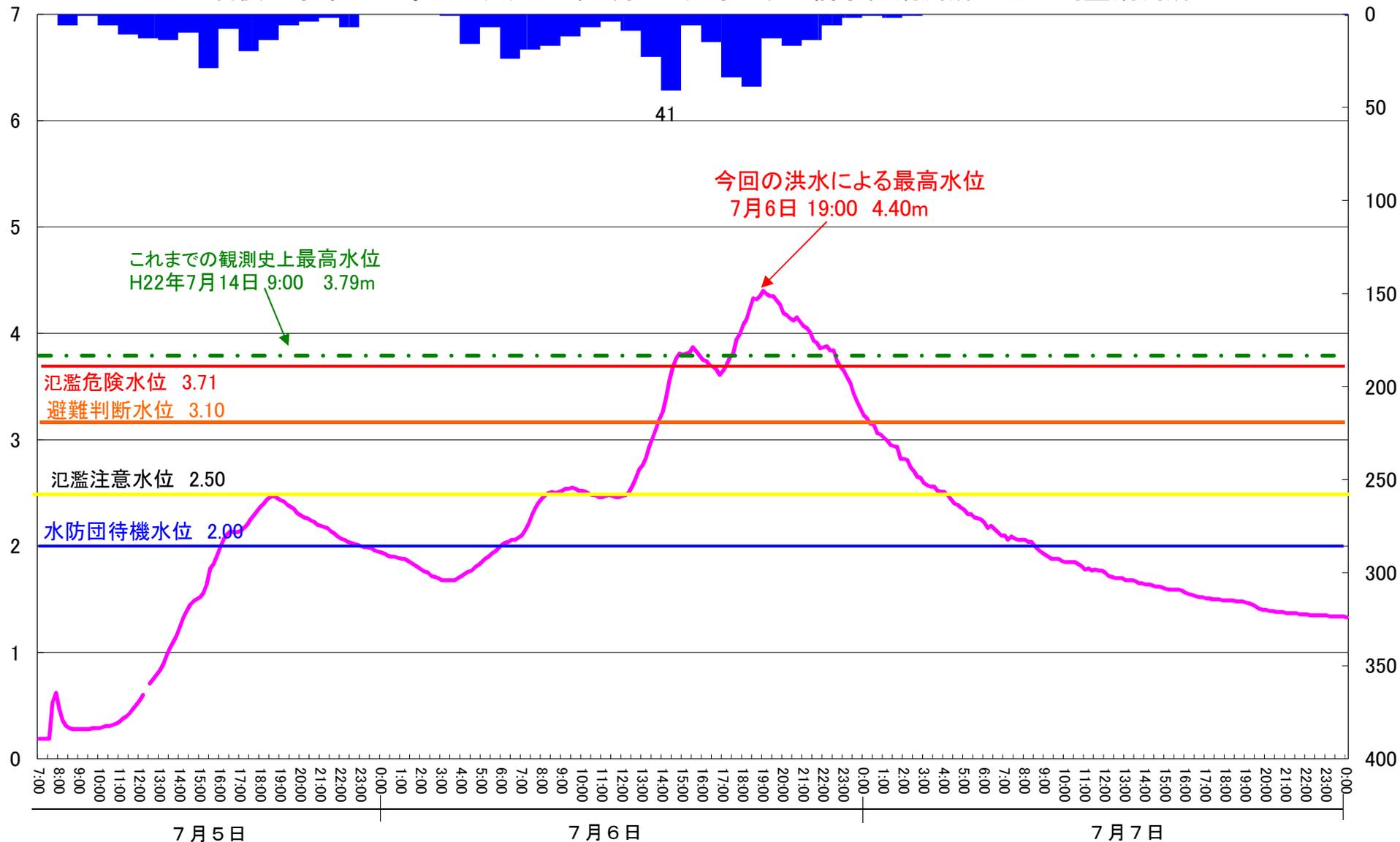


※栄田橋水位観測所 所在地:小石原川 3.24km地点(福岡県三井郡大刀洗町栄田) 零点高:T.P. 13.3m

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

4. 水位の概要⑨-2 (筑後川水系小石原川)

筑後川水系小石原川 平成30年7月6日出水 栄田橋水位観測所—江川雨量観測所



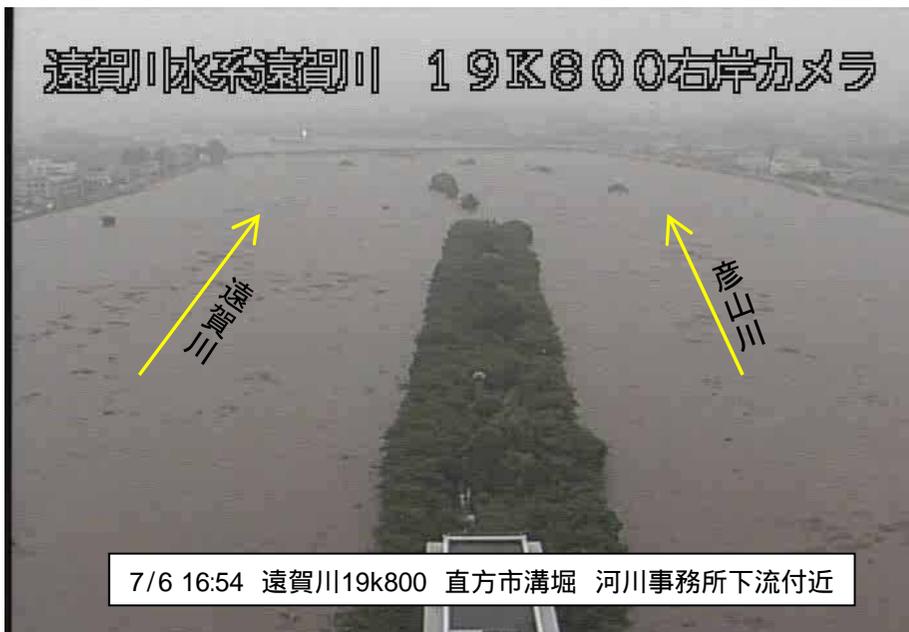
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

5. 出水状況写真

【 遠賀川水系 】

【 筑後川水系 】



5. 出水状況写真

【 山国川水系 】

【 松浦川水系 】



5. 出水状況写真

【 六角川水系 】



【 嘉瀬川水系 】



5. 出水状況写真

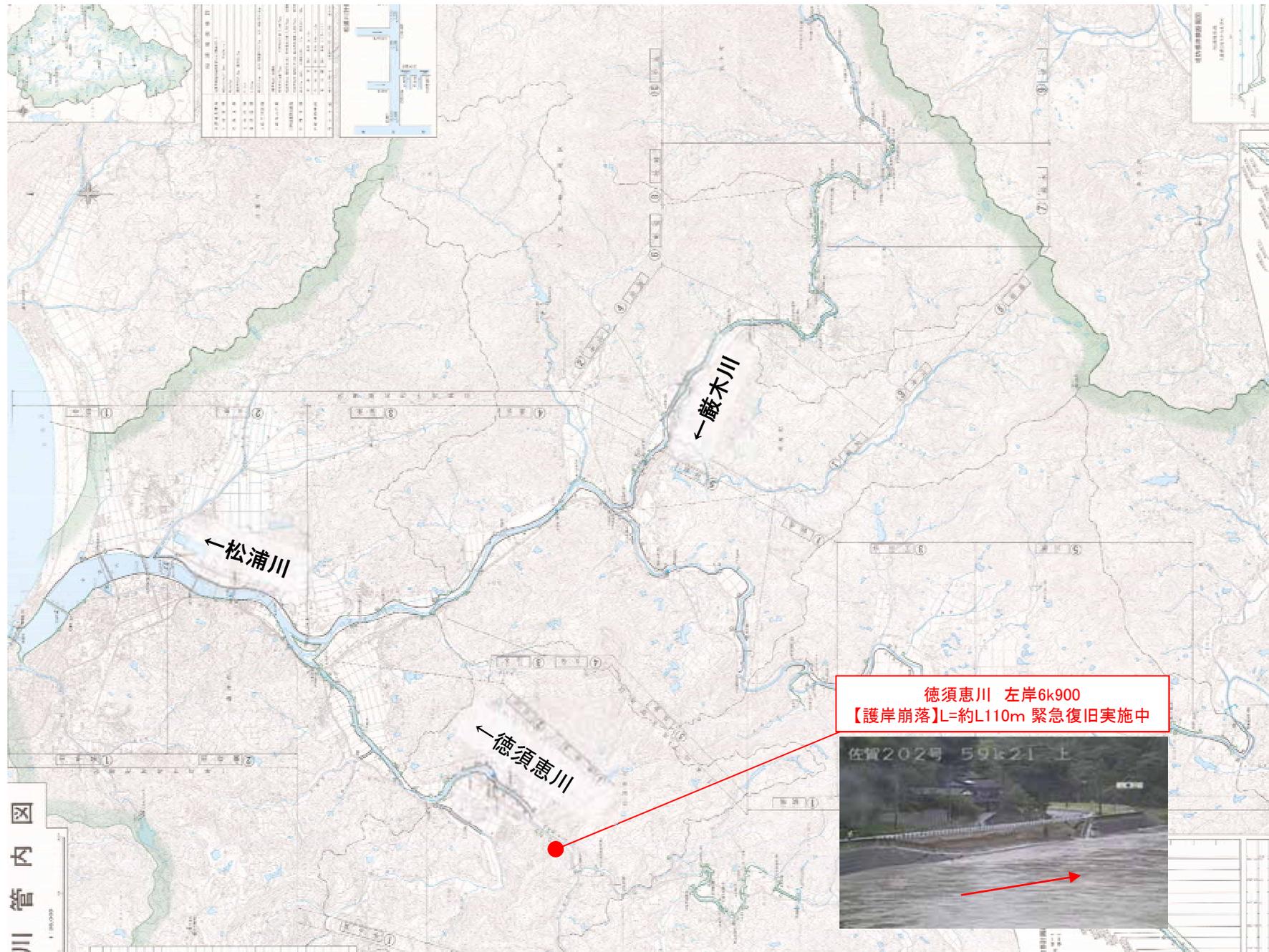
【 菊池川水系 】



【 球磨川水系 】



6. 被災箇所位置（松浦川水系）



6. 緊急復旧工事の状況（松浦川水系徳須恵川6k830付近）

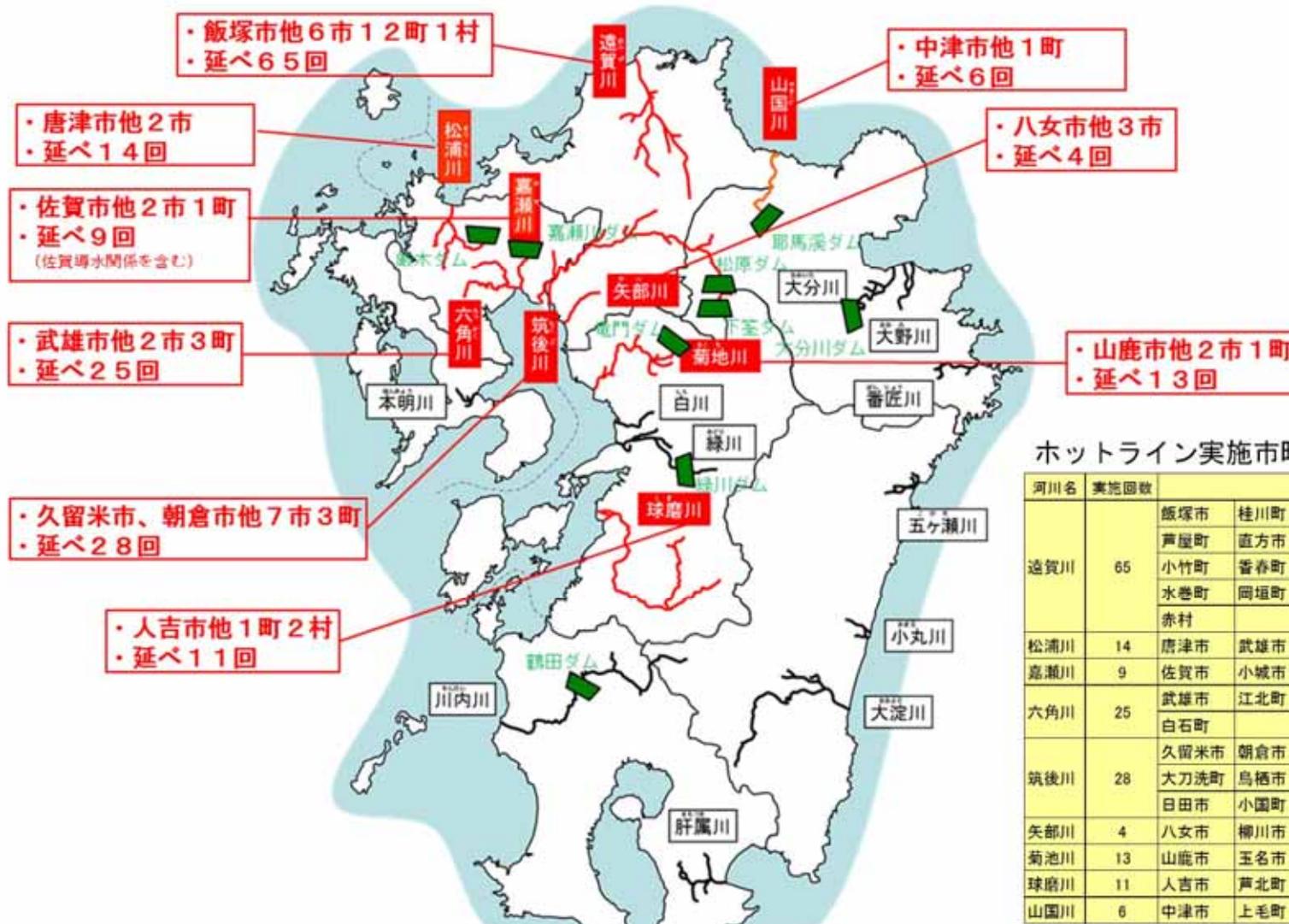
○ 松浦川水系徳須恵川で、河岸決壊に伴う護岸の崩落が生じた区間において、早期復旧に向け24時間態勢で緊急復旧工事を実施しています。（7月6日着手、13日完了予定）



7. ホットライン実施状況（九州地方整備局管内）

流域首長とのきめ細やかな情報共有を実施

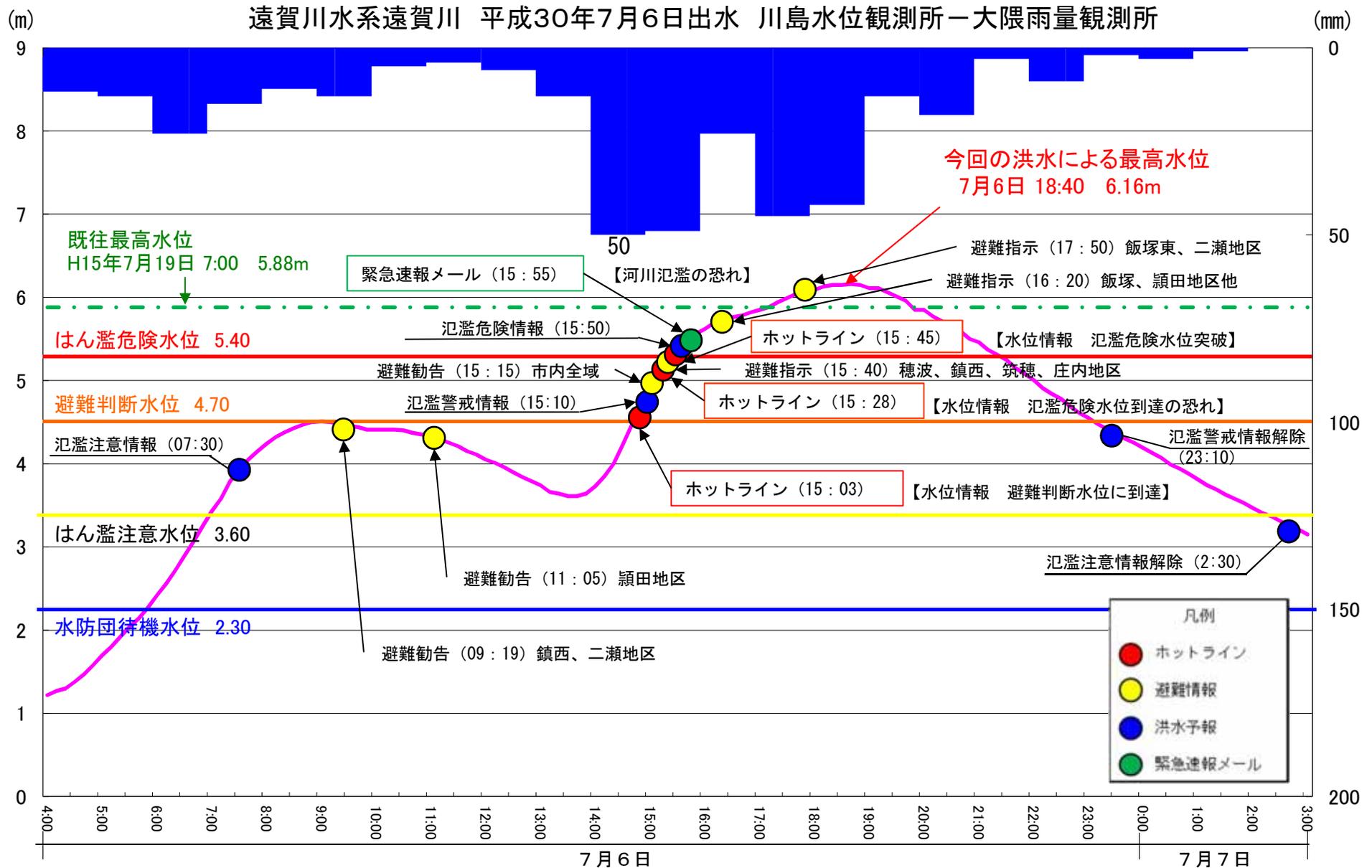
直轄河川において、30市21町3村に対し延べ175回のホットラインを実施しました。



ホットライン実施市町村

河川名	実施回数	市町村				
遠賀川	65	飯塚市	桂川町	宮若市	中間市	北九州市八幡西区
		芦屋町	直方市	嘉麻市	田川市	福智町
		小竹町	香春町	川崎町	糸田町	添田町
		水巻町	岡垣町	遠賀町	鞍手町	北九州市若松区
		赤村				
松浦川	14	唐津市	武雄市	伊万里市		
嘉瀬川	9	佐賀市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	
六角川	25	武雄市	江北町	小城市	多久市	大町町
		白石町				
筑後川	28	久留米市	朝倉市	佐賀市	神埼市	吉野ヶ里町
		大刀洗町	鳥栖市	小郡市	大川市	うきは市
		日田市	小国町			
矢部川	4	八女市	柳川市	筑後市	みやま市	
菊池川	13	山鹿市	玉名市	和水町	菊池市	
球磨川	11	人吉市	芦北町	球磨村	相良村	
山国川	6	中津市	上毛町			

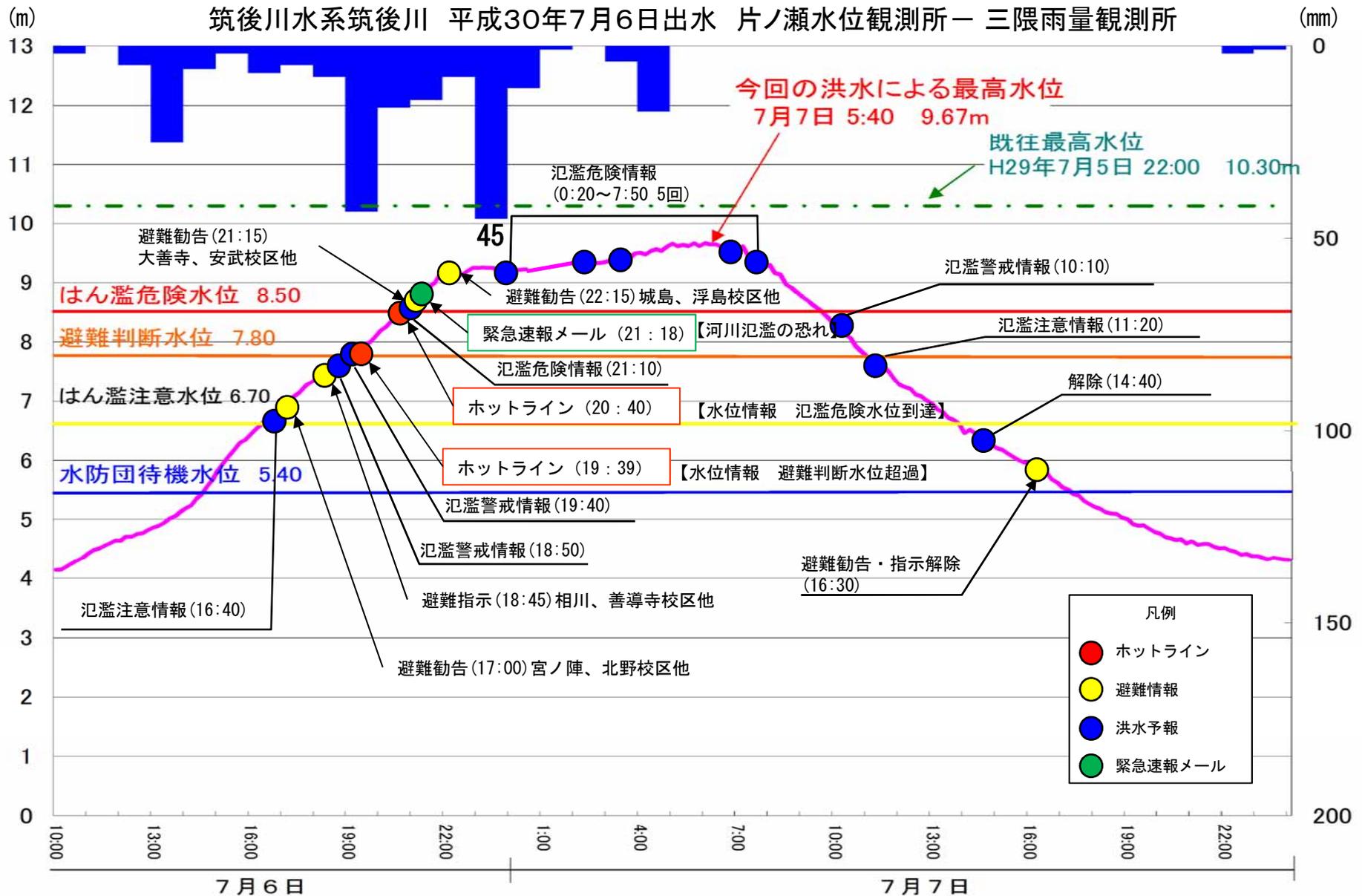
7. ホットライン状況（遠賀川水系遠賀川）【国交省→飯塚市】



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。
 ※洪水予報、避難勧告・避難指示は、遠賀川に関係している部分のみを記載しています。

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

7. ホットライン状況（筑後川水系筑後川）【国交省→久留米市】

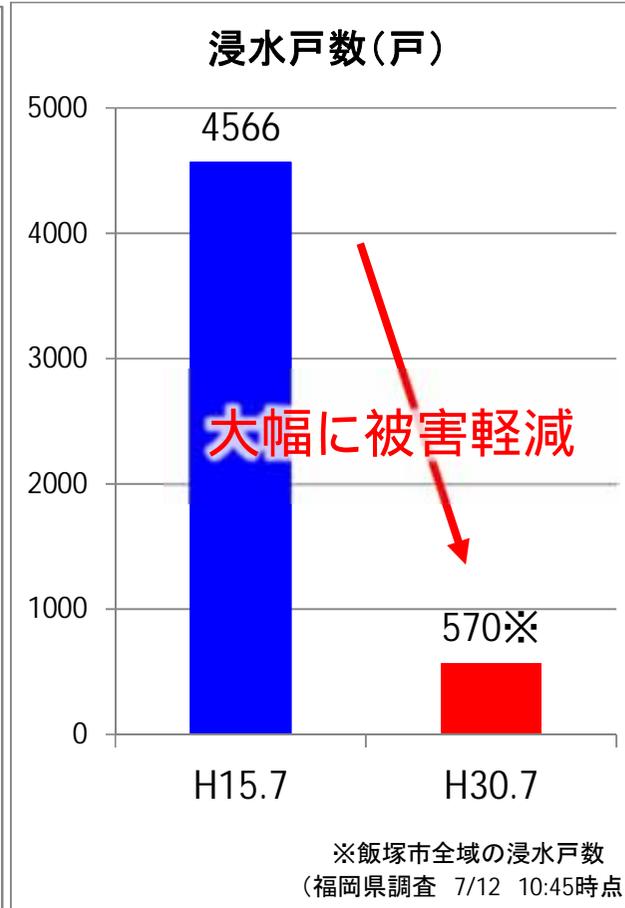
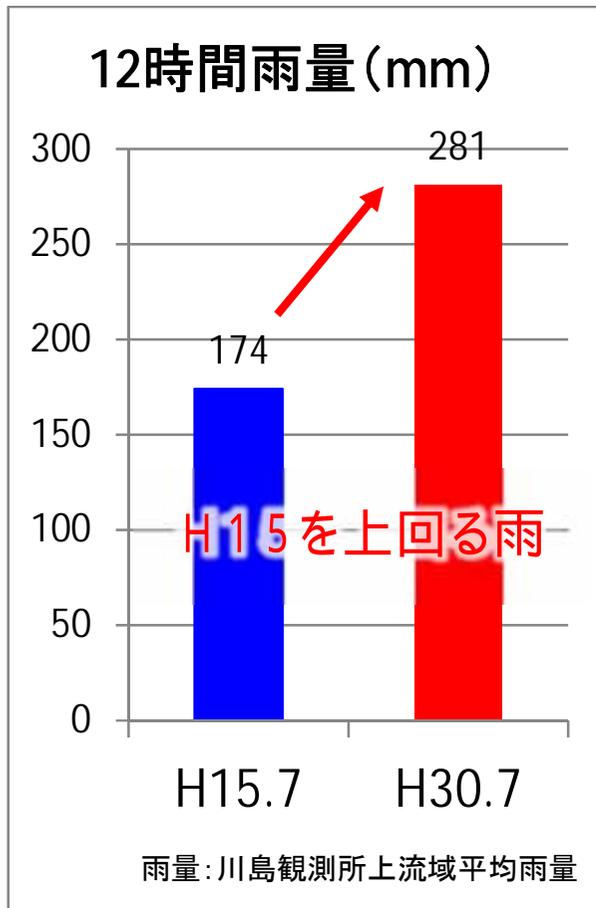


※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。
 ※洪水予報、避難勧告・避難指示は、筑後川に關係している部分のみを記載しています。

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

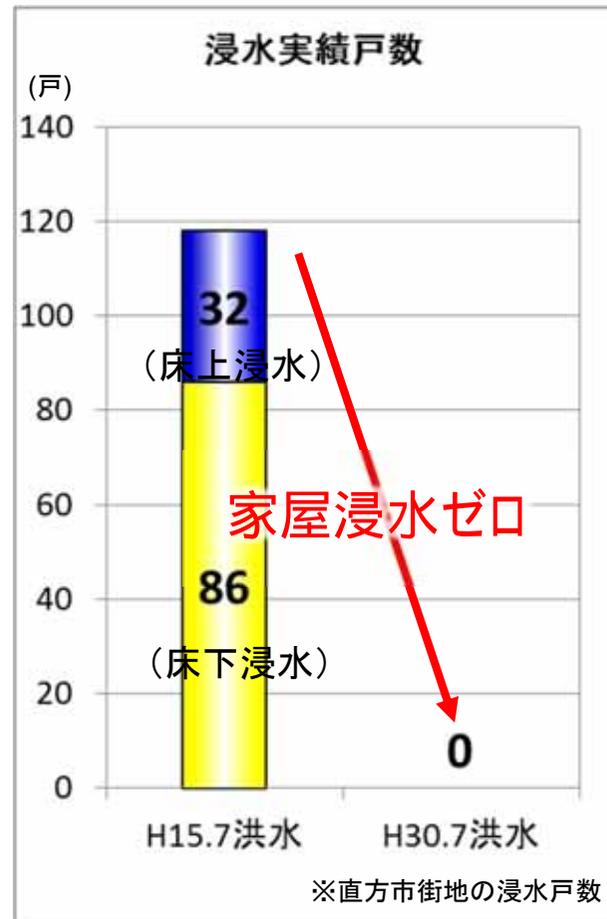
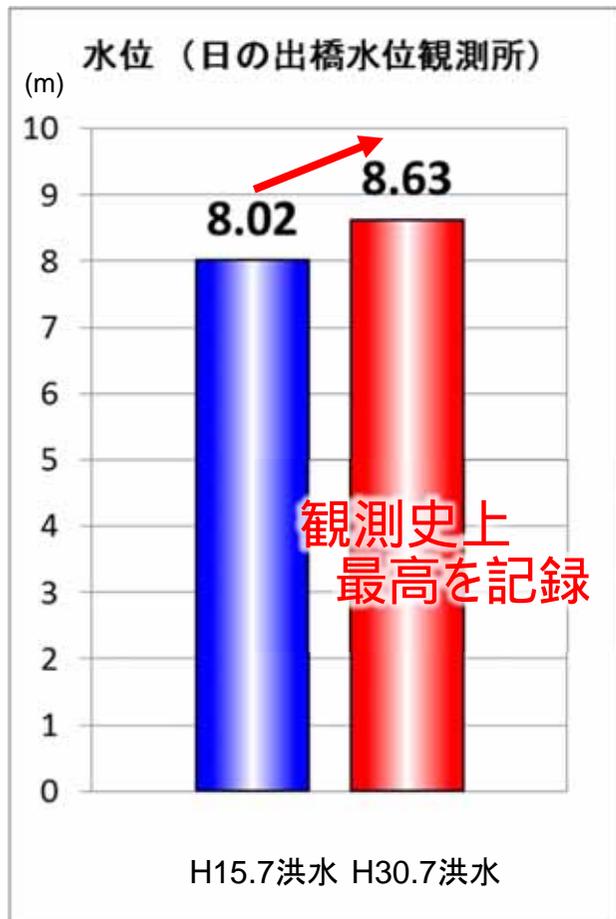
平成15年7月洪水の1.6倍の降雨、被害大幅に減少

遠賀川では平成15年7月洪水を受け、「床上浸水対策特別緊急事業」を実施しました。(平成16～20年度) 河道掘削、橋梁架替、排水機場等の河川整備を行った結果、今回の豪雨では大幅に被害軽減されました。



観測史上最高水位を更新したが、家屋浸水なし

遠賀川では平成15年7月洪水を受け、「床上浸水対策特別緊急事業」を実施しました。(平成17～21年度)排水機場の新設と直方市による放水路等の整備の結果、今回の豪雨では家屋浸水は発生しませんでした。

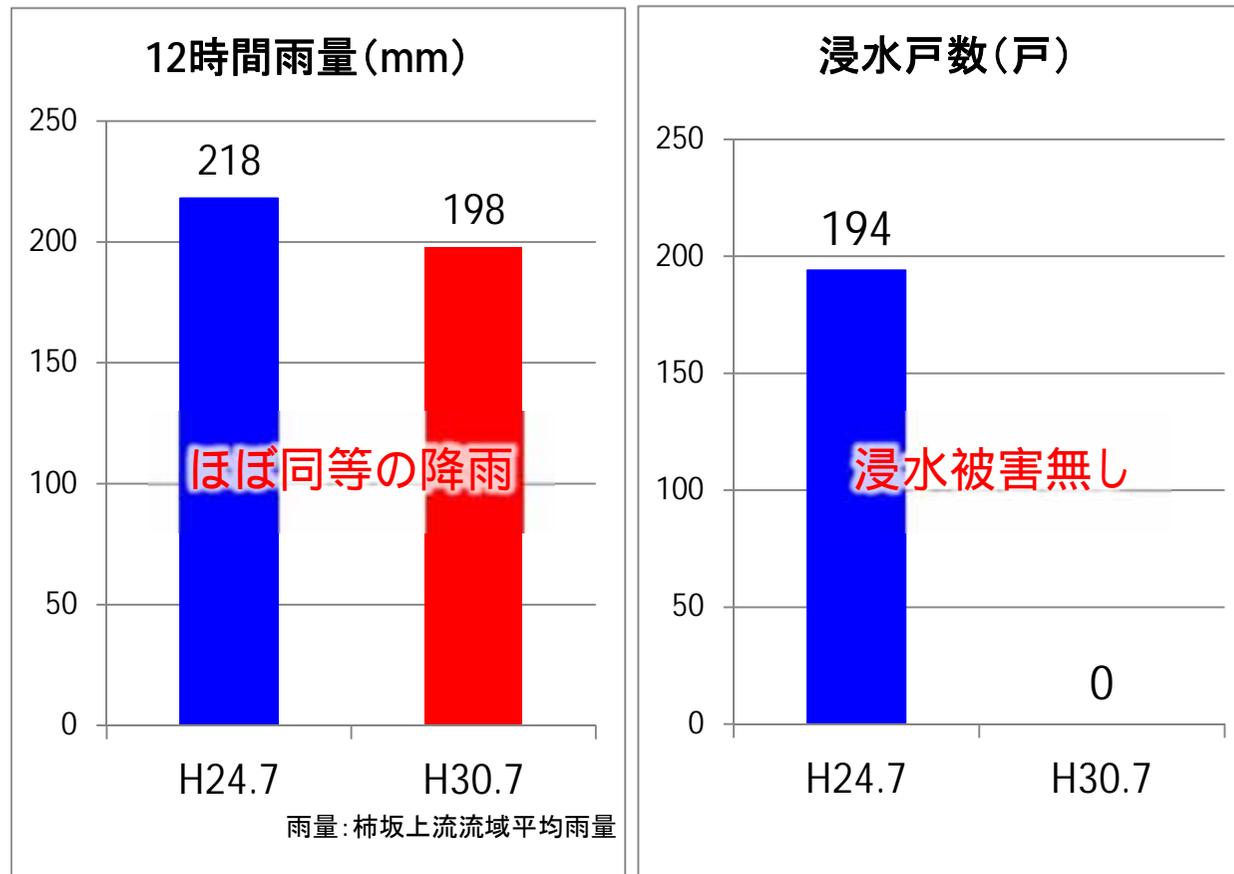


※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査結果等で変わる可能性があります。

8. 治水事業の効果（山国川の河川事業による効果）

平成24年7月洪水時と**ほぼ同規模の降雨**に対し、**浸水被害無し**

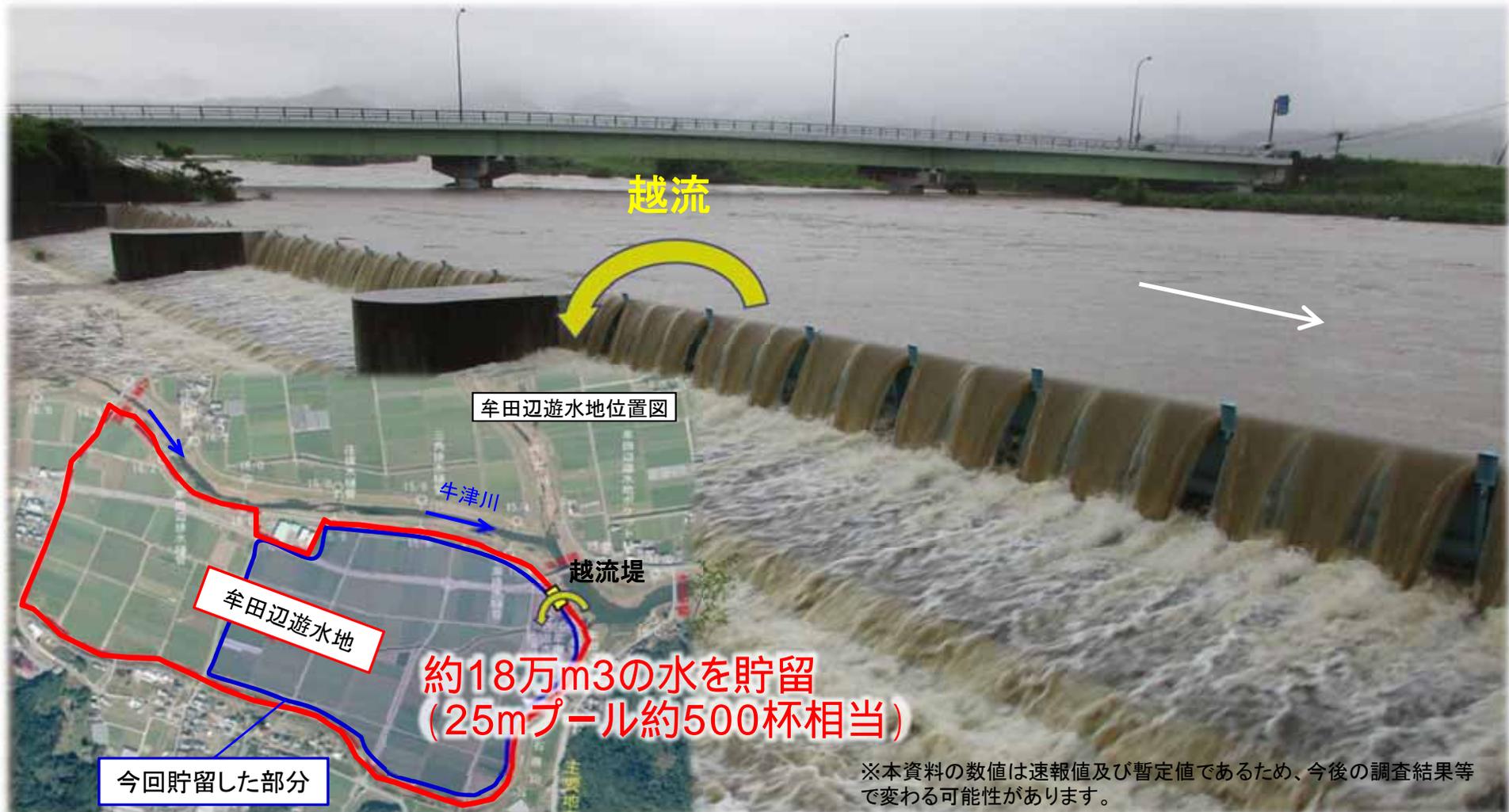
山国川中流部では、平成24年7月3日、14日洪水を受け、「床上浸水対策特別緊急事業」を実施しました。（平成25～30年度）
築堤・護岸、河道掘削、樹木伐採等の河川整備を行った結果、今回の豪雨では家屋の浸水被害は発生しませんでした。



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査結果等で変わる可能性があります。

遊水地下流の妙見橋地点で水位を約30cm低下

六角川水系牛津川では平成2年7月洪水を受け、「牟田辺遊水地」を整備しました。
25mプール約500杯分の洪水を貯留し、下流の妙見橋地点で水位を約30cm低下させる効果を発揮しました。



出水期前に完了した応急復旧工事により、**洪水を安全に流下**

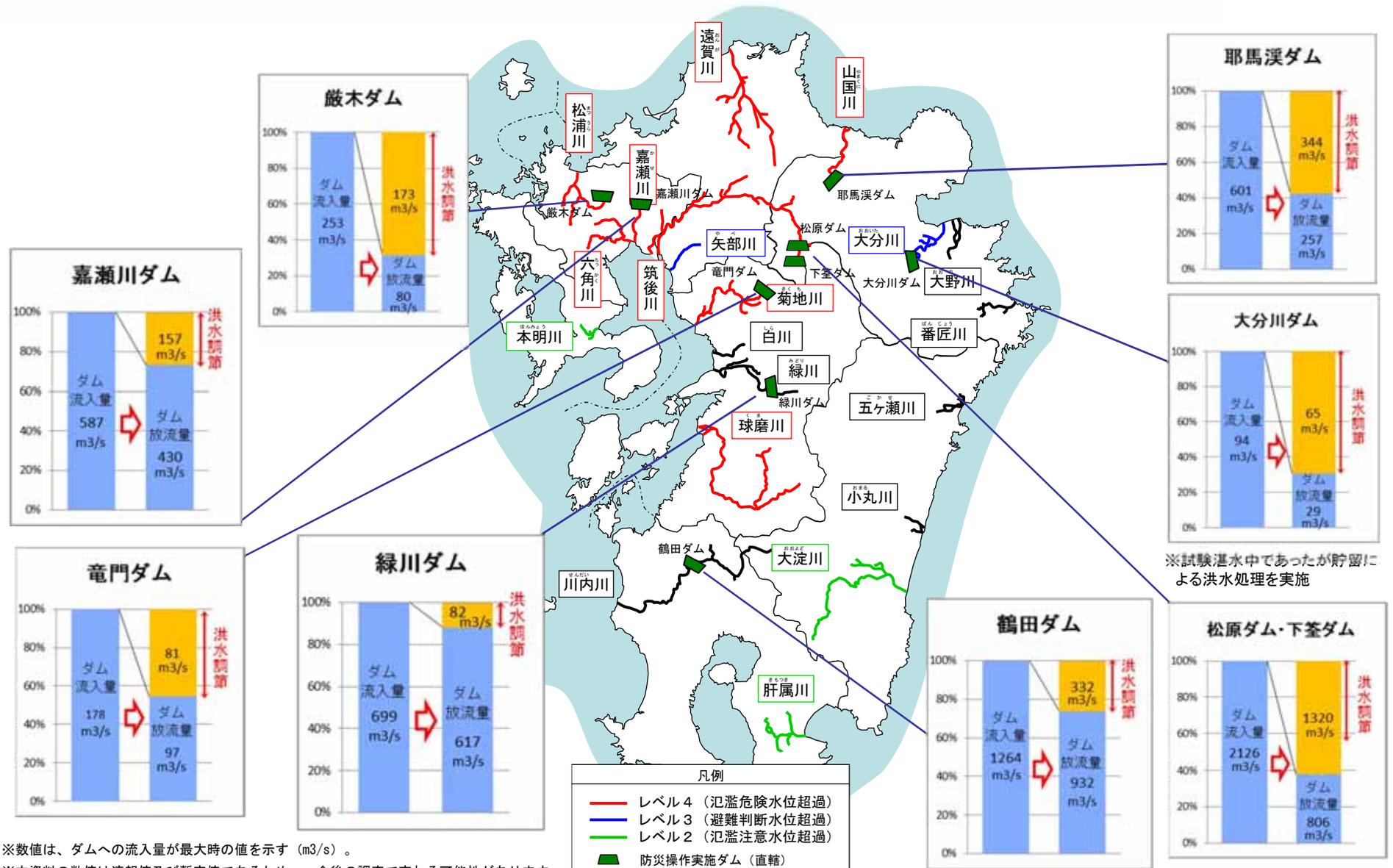
○平成29年7月の九州北部豪雨をうけ国による権限代行により応急復旧を実施、今回の豪雨で土砂を捕捉し下流への土砂の流出を抑制するとともに、洪水を安全に流下させました。



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査結果等で変わる可能性があります。

8. 治水事業の効果（直轄管理ダムの洪水調節状況）

九州のすべての直轄ダム(9ダム)で洪水調節を実施



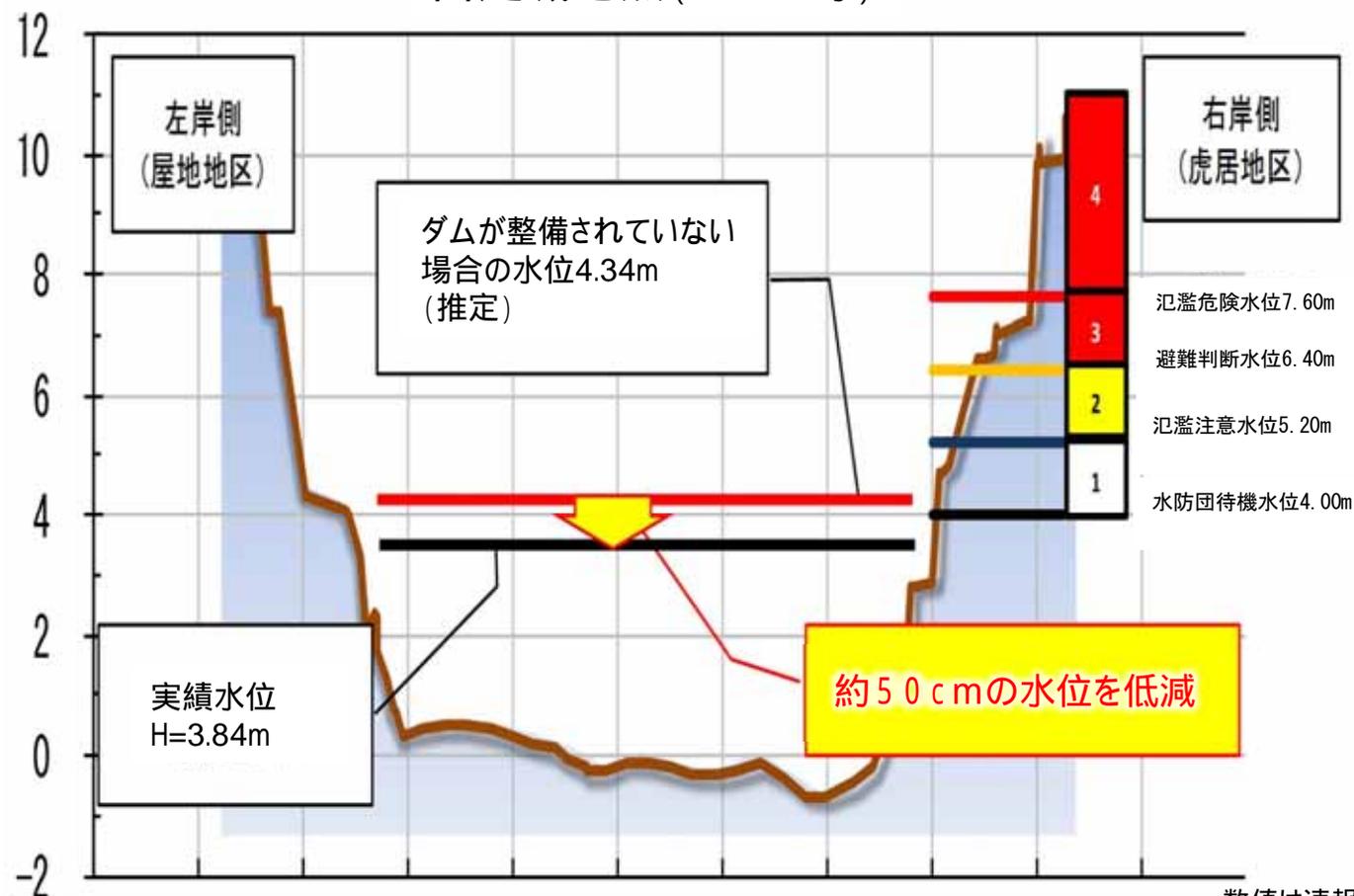
※数値は、ダムへの流入量が最大時の値を示す (m³/s)。
 ※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

8. 治水事業の効果 (川内川水系 鶴田ダム)

鶴田ダム下流の宮之城地点で水位を約50cm低減

○7月7日1時20分より防災操作を開始し、7月7日9時10分には332m³/秒をダムに貯留しました。
鶴田ダムが整備されていない場合は、宮之城地点で水位が約50cm上昇し、水防団待機水位を超過していたと推定されます。

宮之城地点(さつま町)



宮之城地点位置図



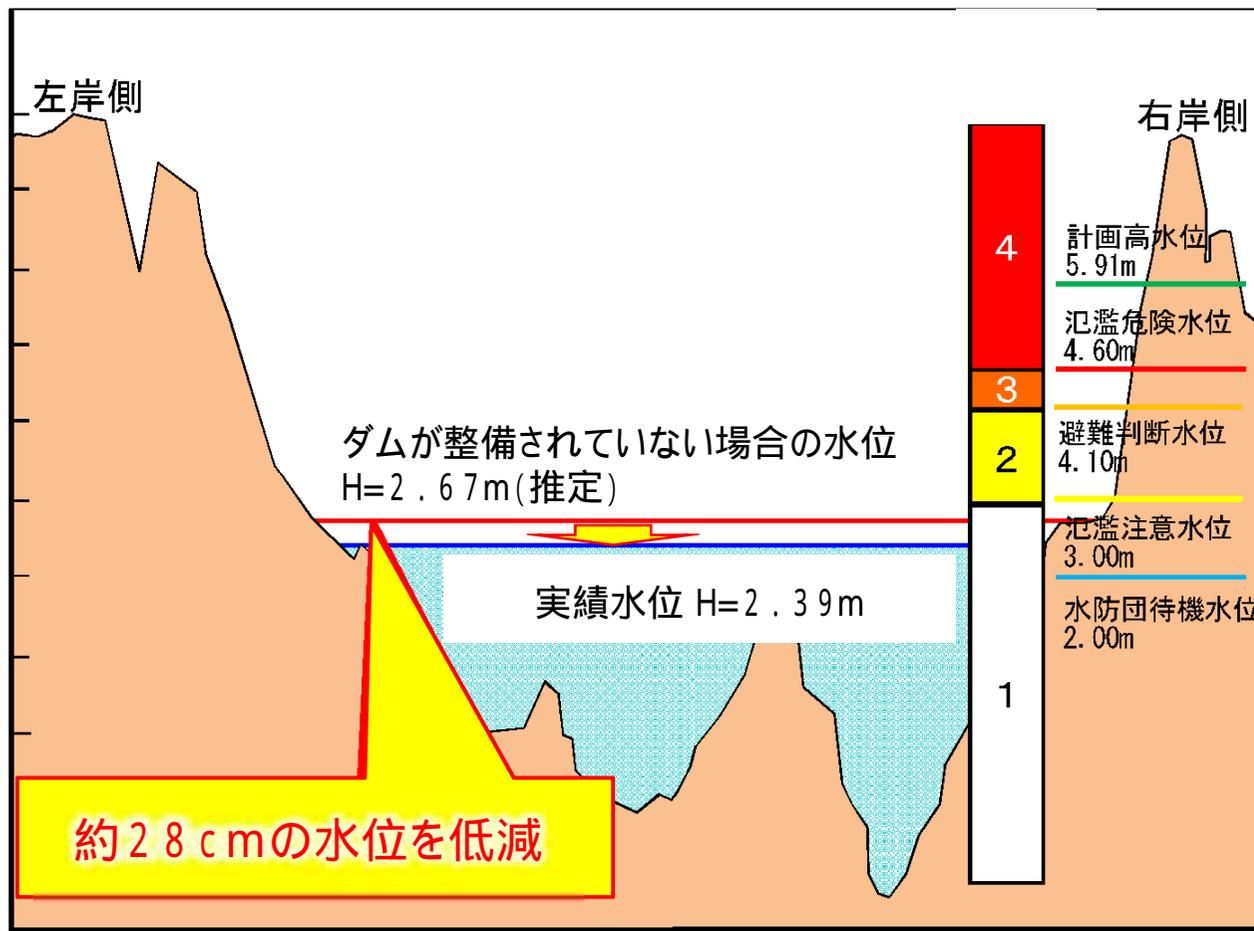
数値は速報値であるため今後変わる可能性があります。

8. 治水事業の効果 (みどりかわ 緑川水系 みどりかわ 緑川ダム)

緑川ダム下流の中甲橋地点で水位を約28cm低減

○7月7日5時00分より防災操作を開始し、7月7日6時20分には82m³/秒をダムに貯留しました。
～緑川ダムが整備されていない場合は、中甲橋地点で水位が約28cm上昇していたと推定されます。

中甲橋地点(美里町)



中甲橋地点位置図



数値は速報値であるため今後変わる可能性があります。

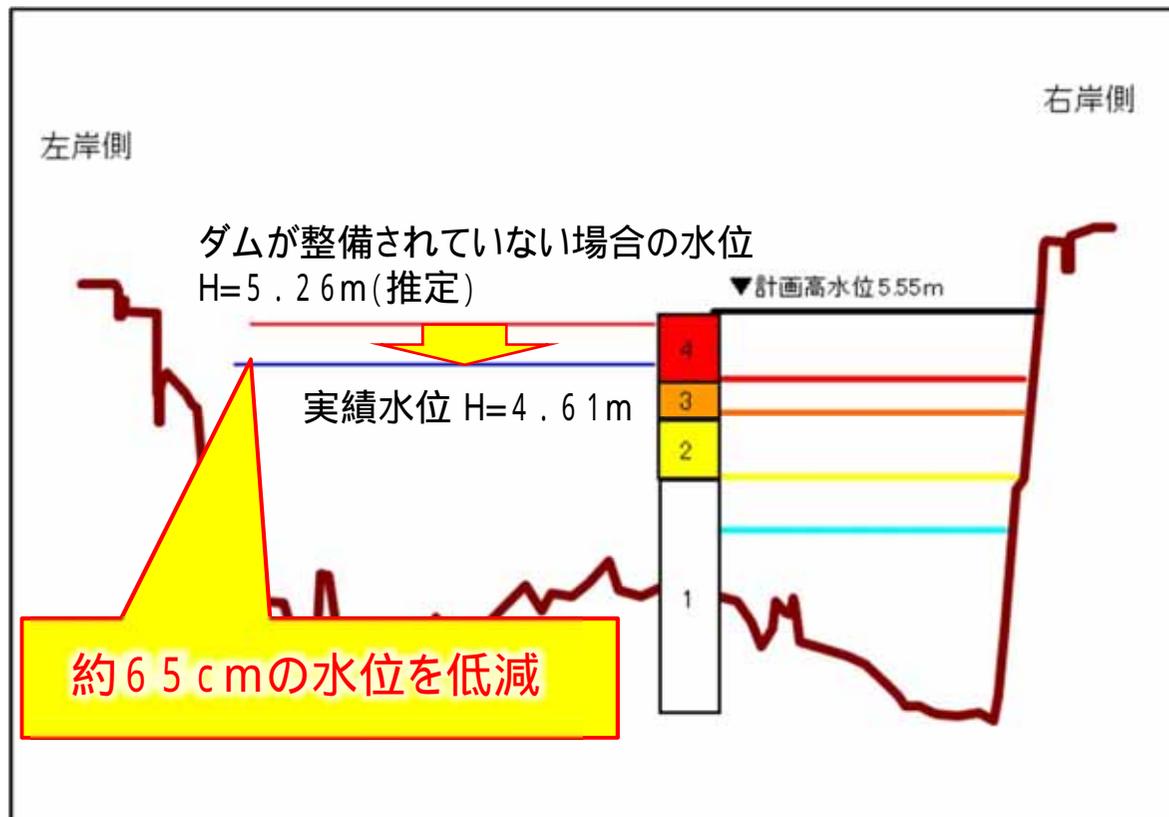
8. 治水事業の効果 (筑後川水系 ちくごがわ 松原ダム・下釜ダム まつばら 下釜ダム)

松原・下釜ダム下流の小湊地点で水位を約65cm低減

○松原ダムは7月7日0時2分、下釜ダムは7月6日11時57分より防災操作を開始し、7月7日2時40分には1320m³/秒を両ダムで貯留しました。

松原・下釜ダムが整備されていないならば、小湊地点で水位が約65cm上昇し計画高水位に約29cmまで迫っていたと推定されます。

小湊地点(日田市)



小湊地点位置図



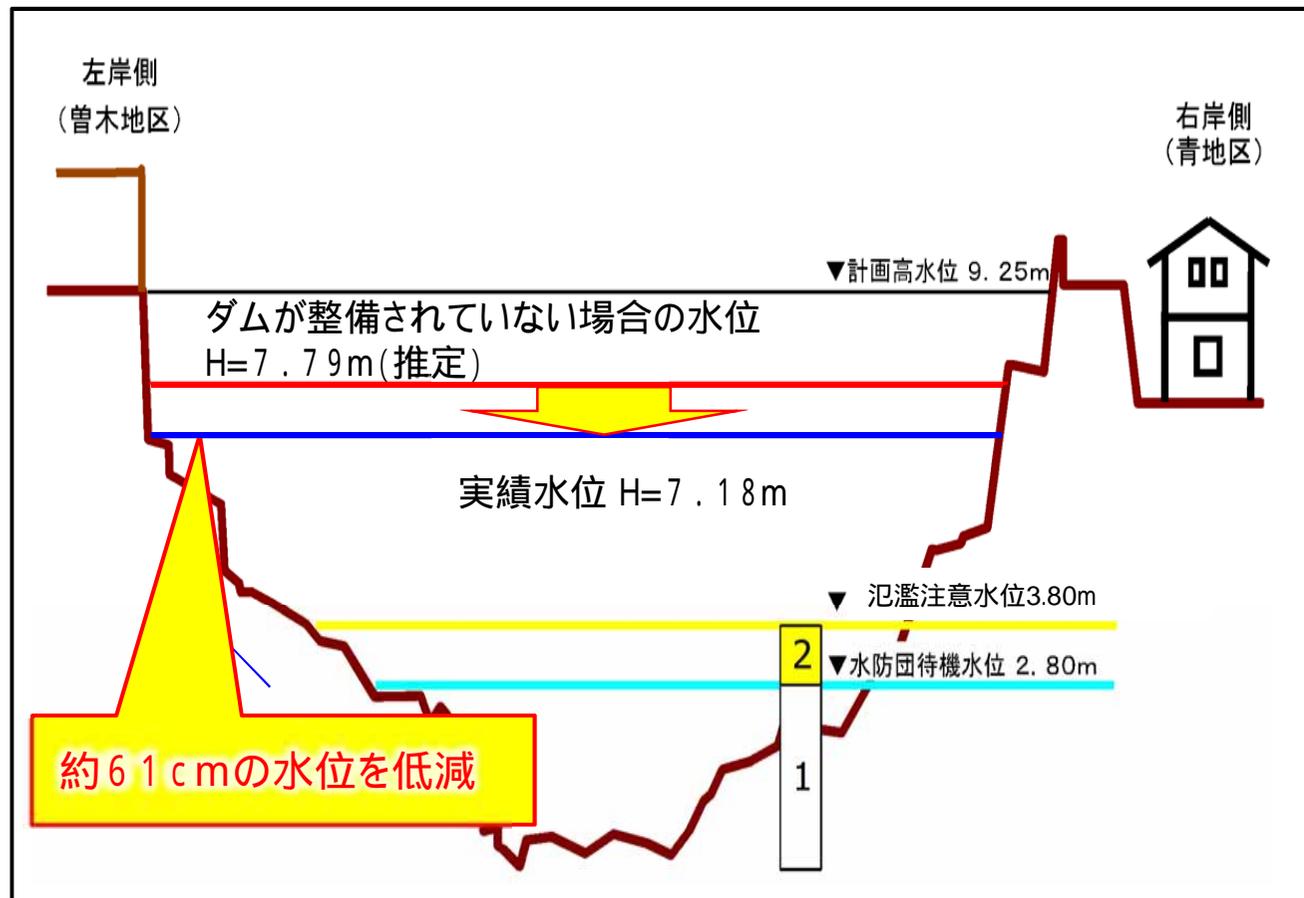
数値は速報値であるため今後変わる可能性があります。

8. 治水事業の効果 (山国川水系 耶馬溪ダム)

耶馬溪ダム下流の上曽木地点で水位を約61cm低減

○7月6日16時58分より防災操作を開始し、7月6日19時30分には344m³/秒をダムに貯留しました。
耶馬溪ダムが整備されていなければ、上曽木地点で水位が約61cm上昇していたと推定されます。

上曽木地点(中津市)



上曽木地点位置図



数値は速報値であるため今後変わる可能性があります。

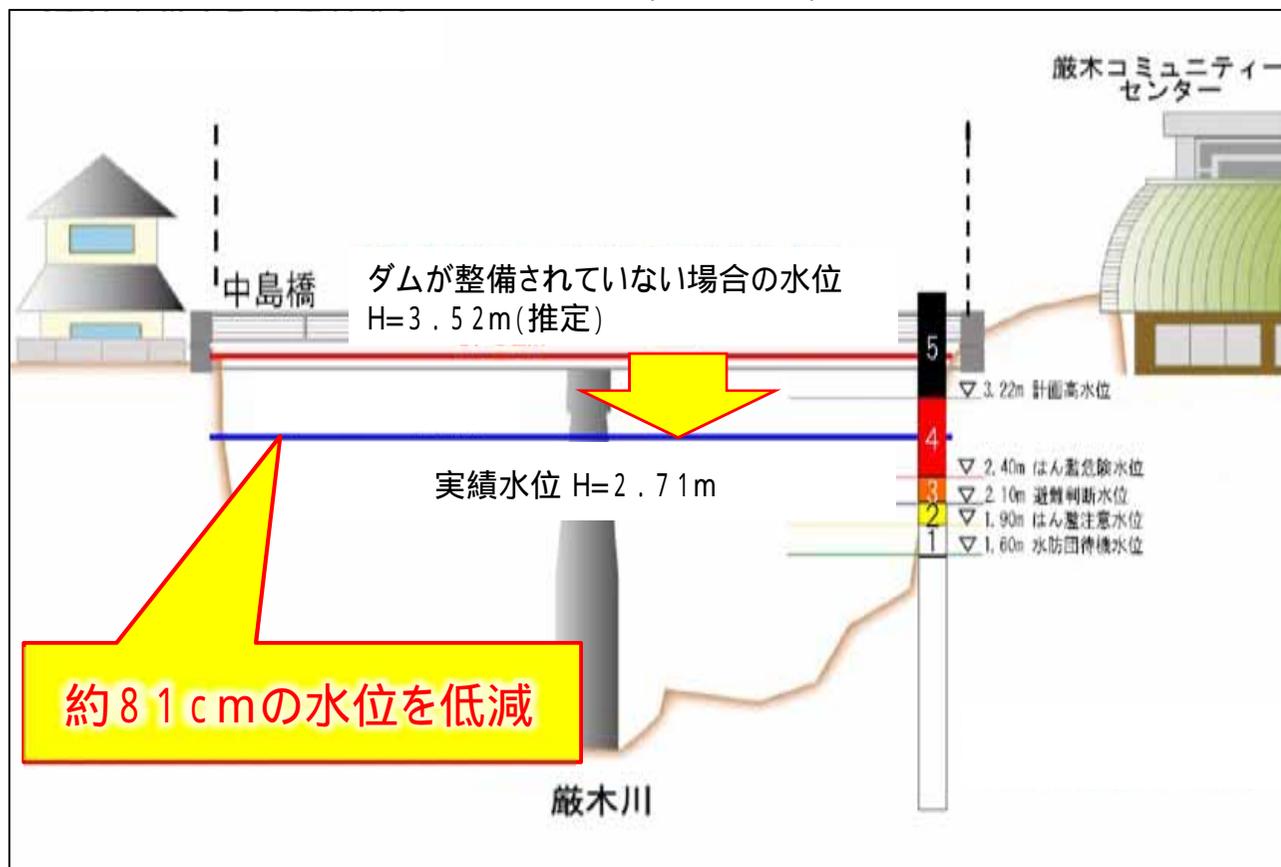
8. 治水事業の効果 (まつうらがわ 厳木ダム)

厳木ダム下流の中島橋地点で水位を約81cm低減

○7月5日14時00分より防災操作を開始し、7月6日16時20分には173m³/秒をダムに貯留しました。

厳木ダムが整備されていなければ、中島橋地点の水位が約81cm上昇し、計画高水位を超過(約30cm)していたと推定されます。

中島橋地点(唐津市)



中島橋地点位置図



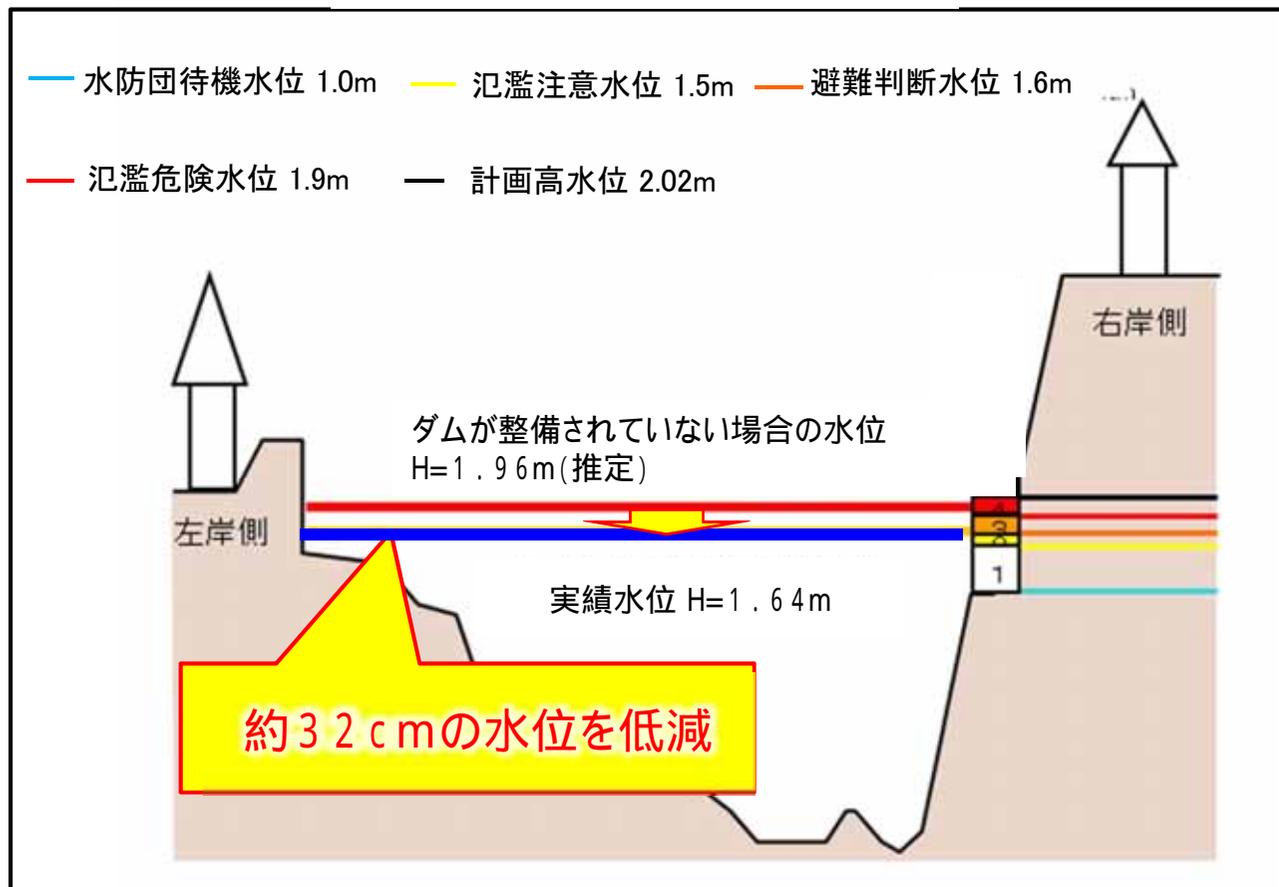
数値は速報値であるため今後変わる可能性があります。

8. 治水事業の効果 (菊池川水系 竜門ダム)

竜門ダム下流の隈府地点で水位を約32cm低減

○7月6日23時01分より防災操作を開始し、7月7日2時00分には $81\text{m}^3/\text{秒}$ をダムに貯留しました。
竜門ダムが整備されていなければ、隈府地点の水位が約32cm上昇し、氾濫危険水位を超過していたと推定されます。

隈府地点(菊池市)



隈府地点位置図



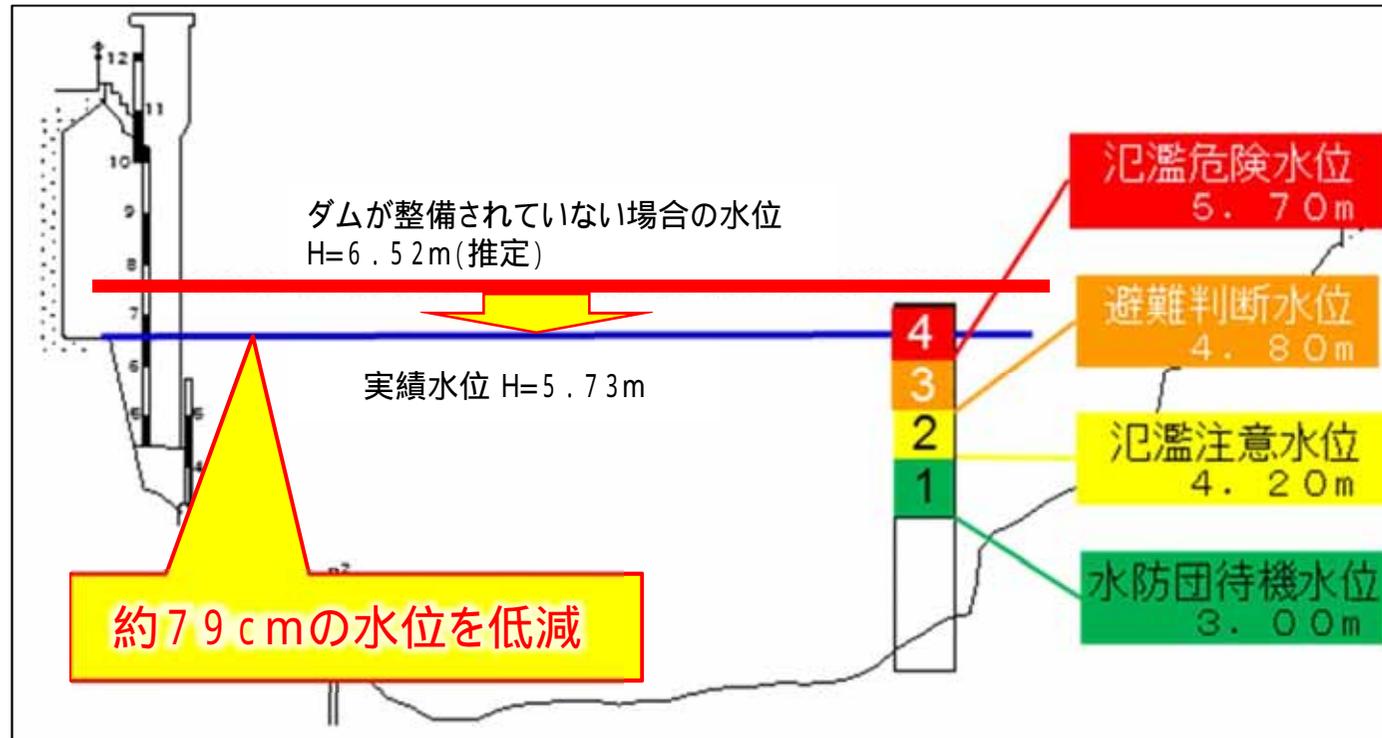
数値は速報値であるため今後変わる可能性があります。

8. 治水事業の効果 (かせがわ 嘉瀬川水系 かせがわ 嘉瀬川ダム)

嘉瀬川ダム下流の川上地点で水位を約79cm低減

○7月6日6時47分より防災操作を開始し、7月6日7時50分には157m³/秒をダムに貯留しました。
嘉瀬川ダムが整備されていない場合は、川上地点の水位が約79cm上昇し、氾濫危険水位を大幅に超過(約82cm)していたと推定されます。

川上地点(佐賀市)



川上地点位置図



数値は速報値であるため今後変わる可能性があります。

8. 治水事業の効果（大分川ダム試験湛水中の効果）

試験湛水中の大分川ダム、水位を約36cm低減

大分川ダムは、本格運用前の試験湛水中ですが、最大179.8万m³(25mプール約4994杯分)の洪水を一時的に貯留し、ダム下流の七瀬川の水位低減を図りました。
大分川ダムの洪水貯留がなければ、七瀬川の水位は水防団待機水位を超過していたと推定されます。
大分川ダムの完成に向け、引き続き試験湛水を着実に実施していきます。

ごまつる
胡麻鶴地点位置図

